

第4章 満10歳から14歳までの青少年の 保護者調査の結果

1 親子のふれあいについて

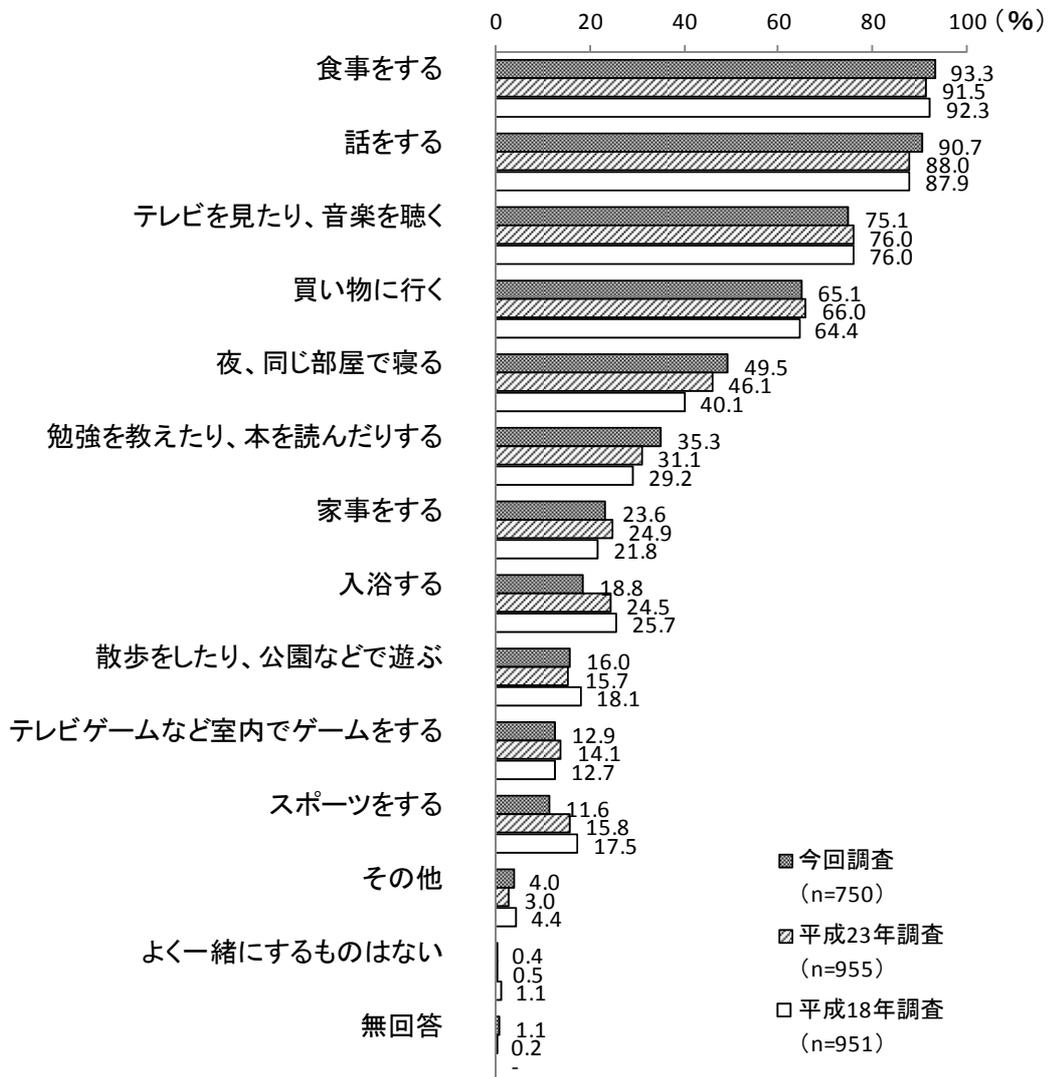
(1) 子どもとよく一緒にすること 問9

◎ あなたがお子さんとよく一緒にすることは何ですか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

子どもと一緒にすることを聞いたところ、「食事をする」(93.3%)が最も多く、「話をする」(90.7%)、「テレビを見たり、音楽を聴く」(75.1%)が続いている。

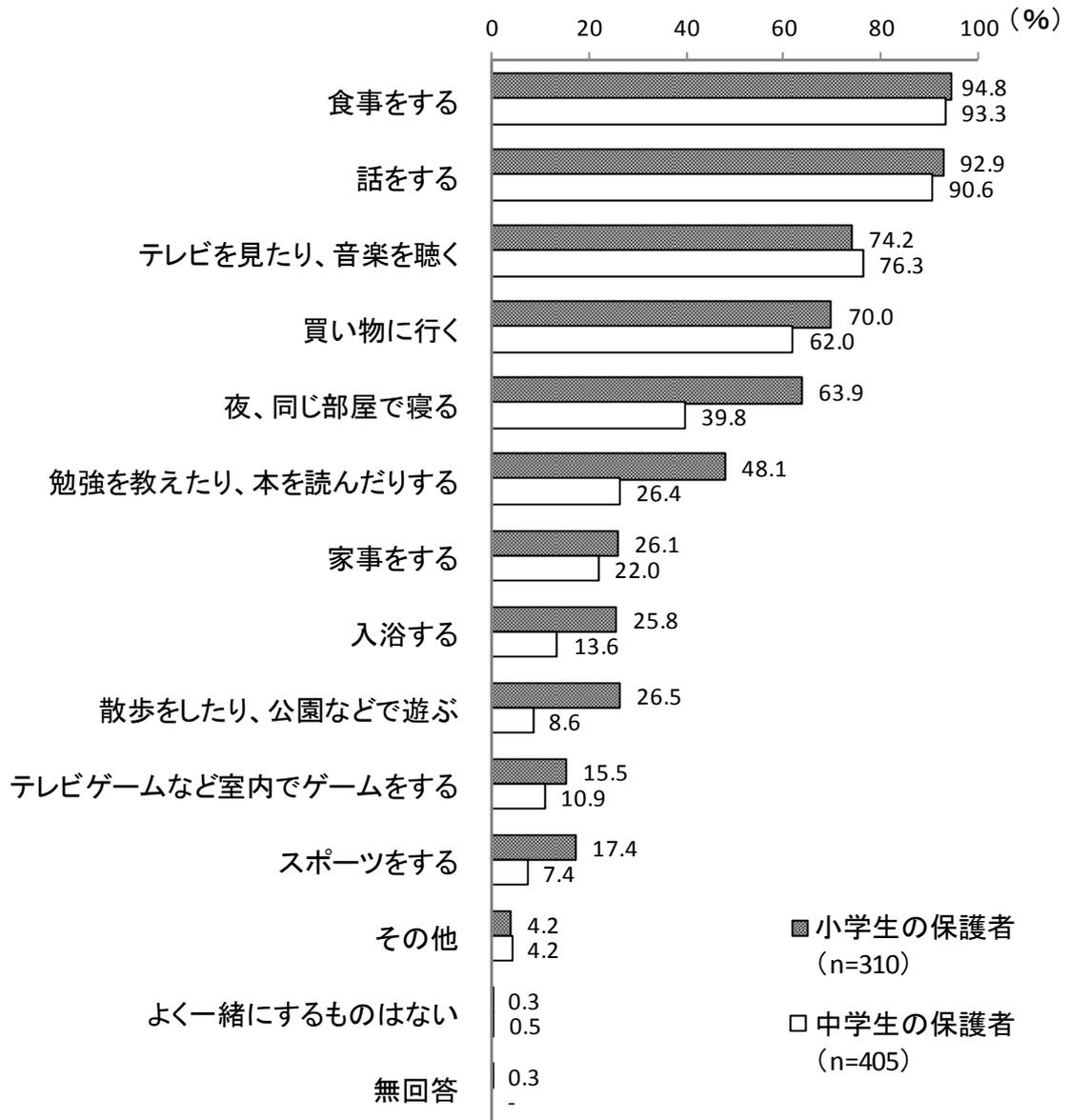
経年変化で見ると、傾向に大きな違いは見られなかった。(図表1(1)1)

図表1(1)1



子の年代別で見ると、ほとんどの項目で小学生の保護者は中学生の保護者より割合が高く、特に「夜、同じ部屋で寝る」が24.1ポイント、「勉強を教えたり、本を読んだりする」が21.7ポイント高くなっている。一方、「テレビを見たり、音楽を聴く」では、中学生の保護者が小学生より2.1ポイント高くなっている。(図表1(1)2)

図表1(1)2 子どもとよく一緒にすること(子の年代別)



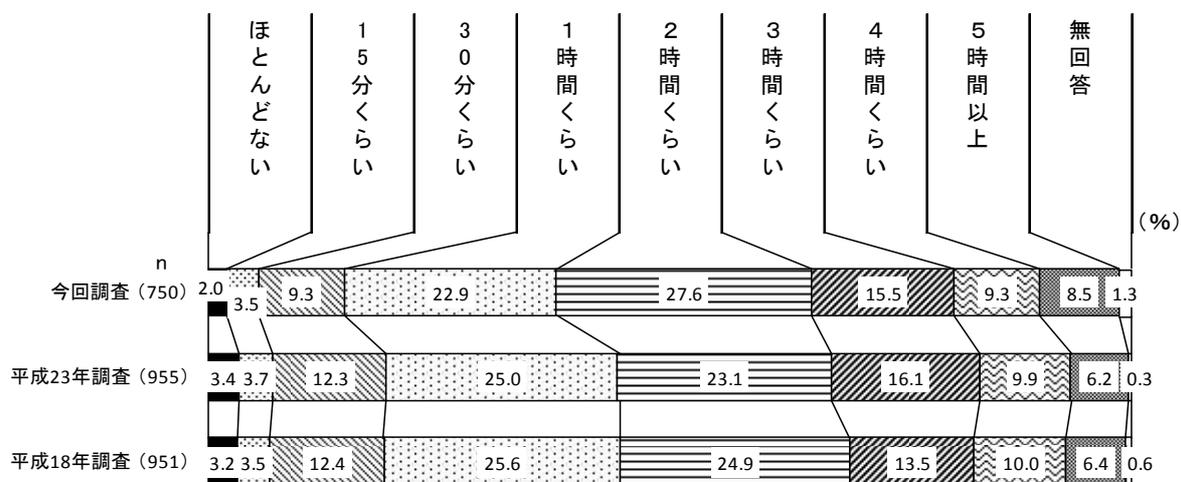
(2) 平日に子どもと過ごす時間 問10

◎ あなたが、平日にお子さんと一緒に何かをしたり、お子さんの相手をしている時間は、平均すると、だいたいどのくらいになりますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

平日子どもと過ごす時間について聞いたところ、「2時間くらい」(27.6%)が最も多く、「1時間くらい」(22.9%)、「3時間くらい」(15.5%)と続いている。

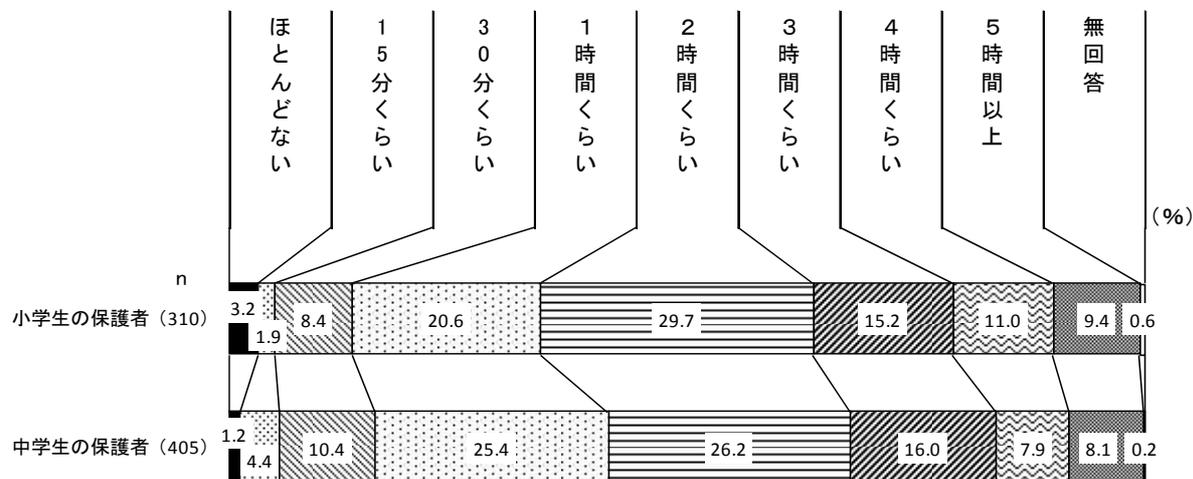
経年変化で見ると、毎日2時間以上子どもと過ごしている割合が、今回調査では60.9%、平成23年調査では55.3%と、5.6ポイント高くなっている。(図表1(2)1)

図表1(2)1



子の年代別で見ると、毎日2時間以上子どもと過ごしている割合は、小学生の保護者が65.3%、中学生の保護者が58.2%と小学生の保護者が中学生の保護者に比べ7.1ポイント高い。(図表1(2)2)

図表1(2)2 平日子どもと過ごす時間(子の年代別)

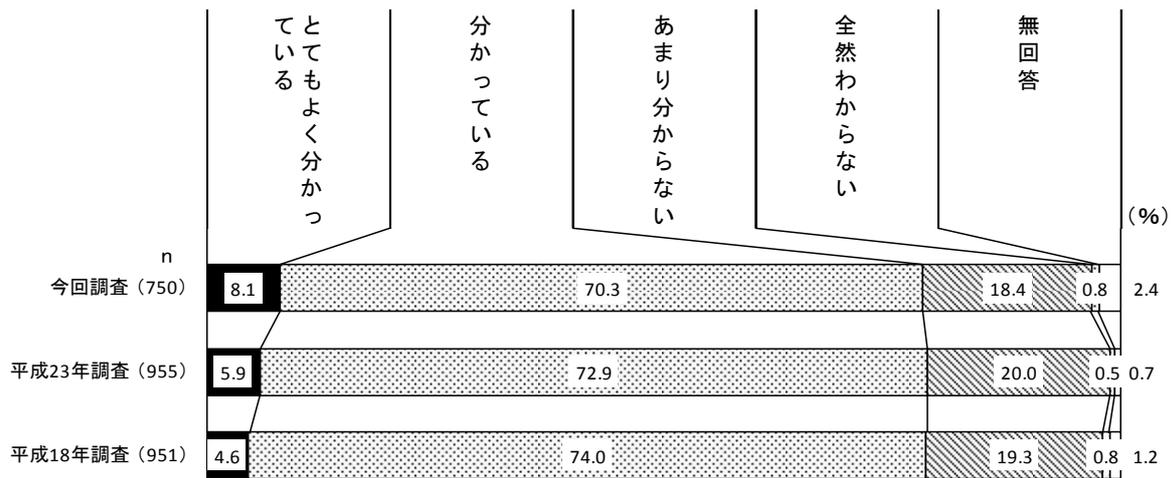


(3) 子どもの気持ちの理解 問11

◎ あなたは、普段、お子さんの気持ちをよく分かっていると思いますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

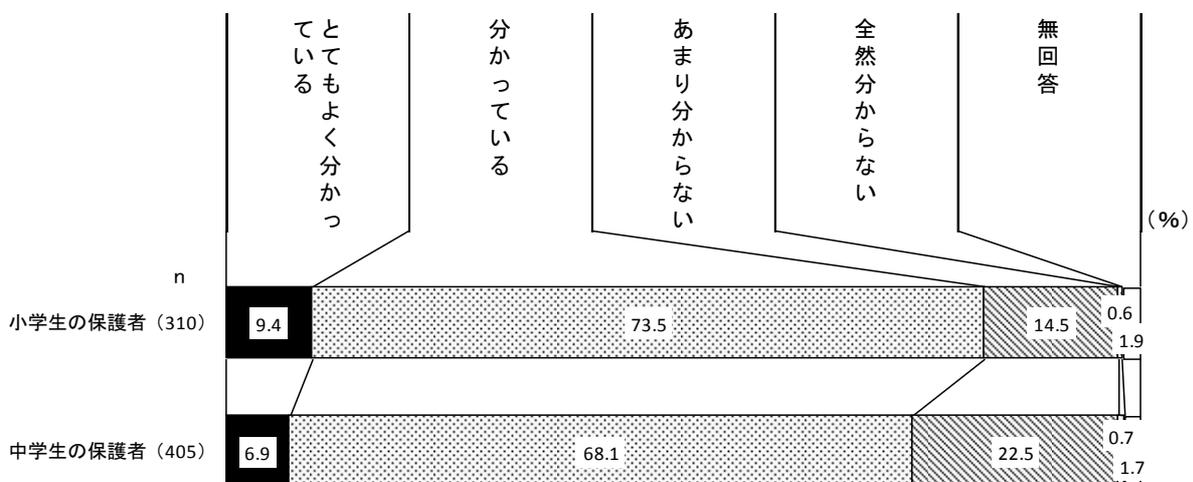
「とてもよく分かっている」と「分かっている」を合わせた《分かっている》の割合は8割弱となっている。(図表1(3)1)

図表1(3)1



子の年代別で見ると、「とてもよく分かっている」、「分かっている」ともに中学生の保護者が小学生の保護者を下回っており、子の年代が上がるにつれて子の気持ちの理解が難しくなる傾向にある。(図表1(3)2)

図表1(3)2 子どもの気持ちの理解 (子の年代別)



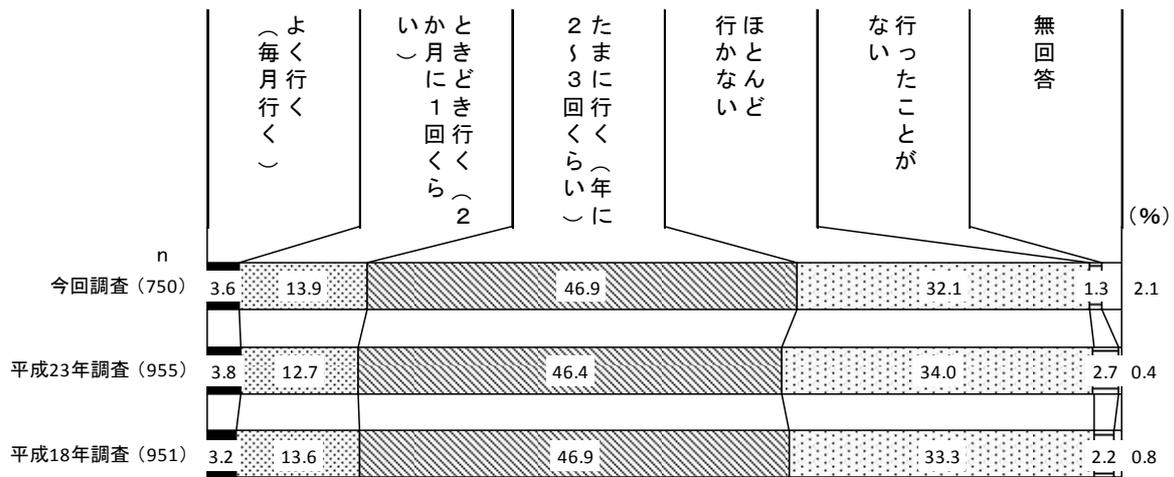
(4) 子どもを自然の多いところへ連れて行く頻度 問 1 2

◎ あなたは、学校が休みの日にお子さんを山や海などの自然が多いところに連れて行くことがありますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

「たまに行く（年に2～3回くらい）」（46.9%）が最も多く、「ときどき行く（2か月に1回くらい）」（13.9%）と続いている。

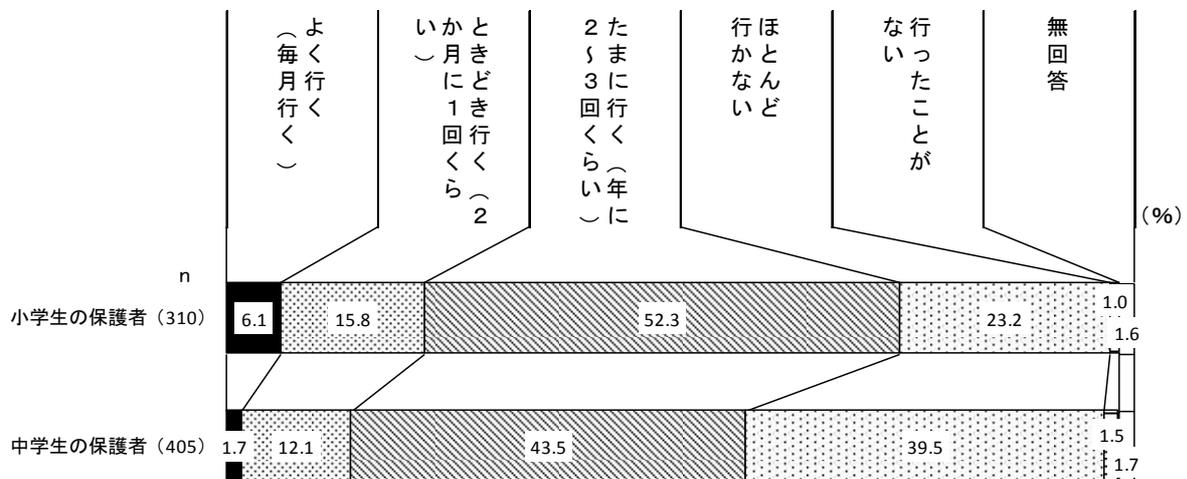
経年変化で見ると、傾向に大きな違いは見られなかった。（図表1（4）1）

図表1（4）1



子どもの年代別で見ると、「よく行く（毎月行く）」、「ときどき行く（2か月に1回くらい）」、「たまに行く（年に2～3回くらい）」のすべてで中学生の保護者が小学生の保護者を下回っており、子の年代が上がるにつれ子を自然の多いところへ連れていく頻度は減少する傾向にある。（図表1（4）2）

図表1（4）2 子どもを自然の多いところへ連れて行く頻度（子の年代別）



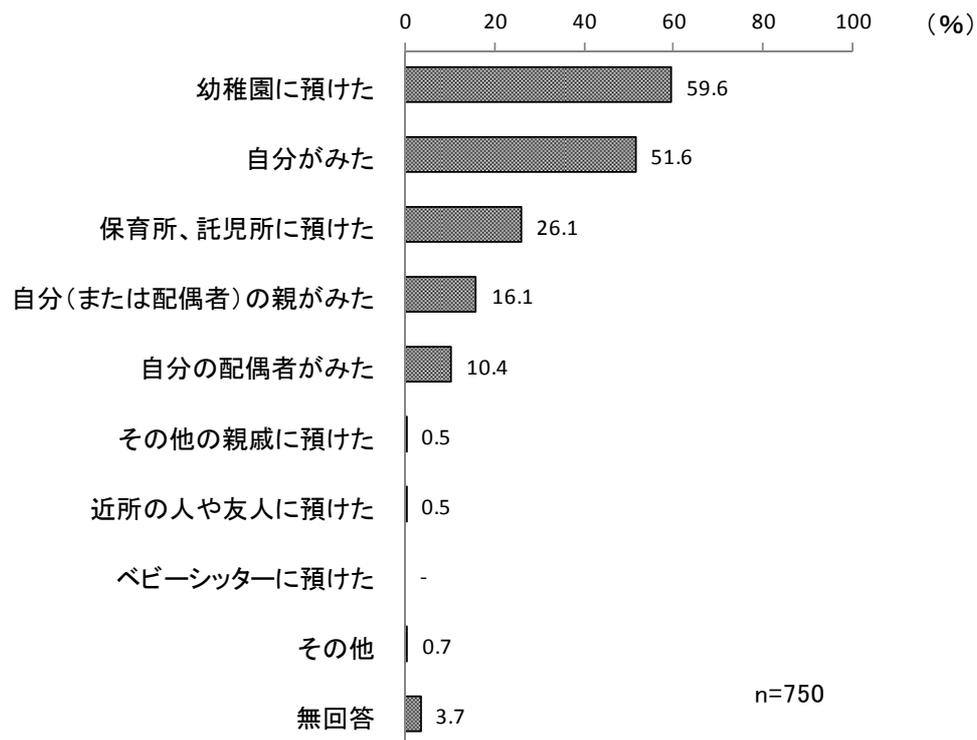
(5) 子どもが就学するまでの平日の保育状況

問 1 3

◎ お子さんが小学校に入るまでの間、お子さんの身の回りの世話や保育は、平日では、通常どのようにしていましたか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

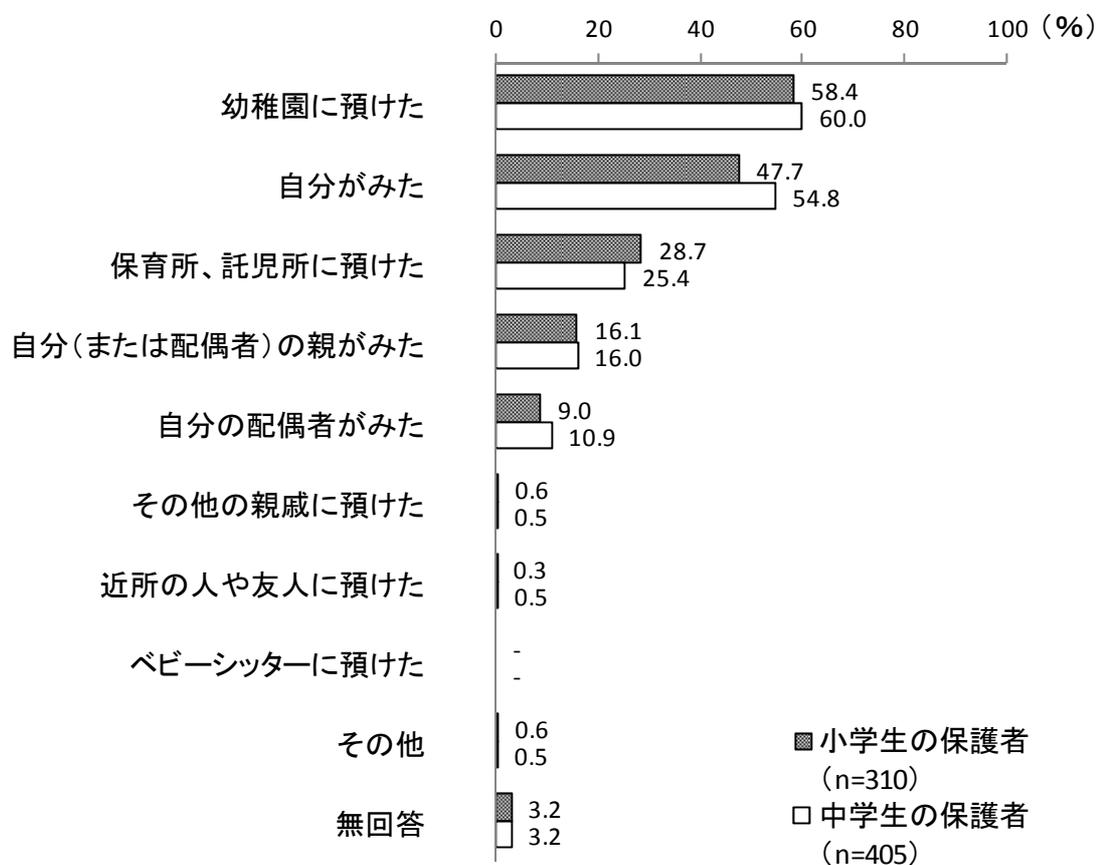
「幼稚園に預けた」(59.6%)が最も多く、「自分がみた」(51.6%)、「保育所、託児所に預けた」(26.1%)と続いている。(図表1(5)1)

図表1(5)1



子の年代別で見ると、小学生の保護者では中学生の保護者に比べて「幼稚園に預けた」や「自分がみた」が少なく、「保育所、託児所に預けた」が多くなっている。(図表1(5)2)

図表1(5)2 子どもが就学するまでの保育状況(子の年代別)



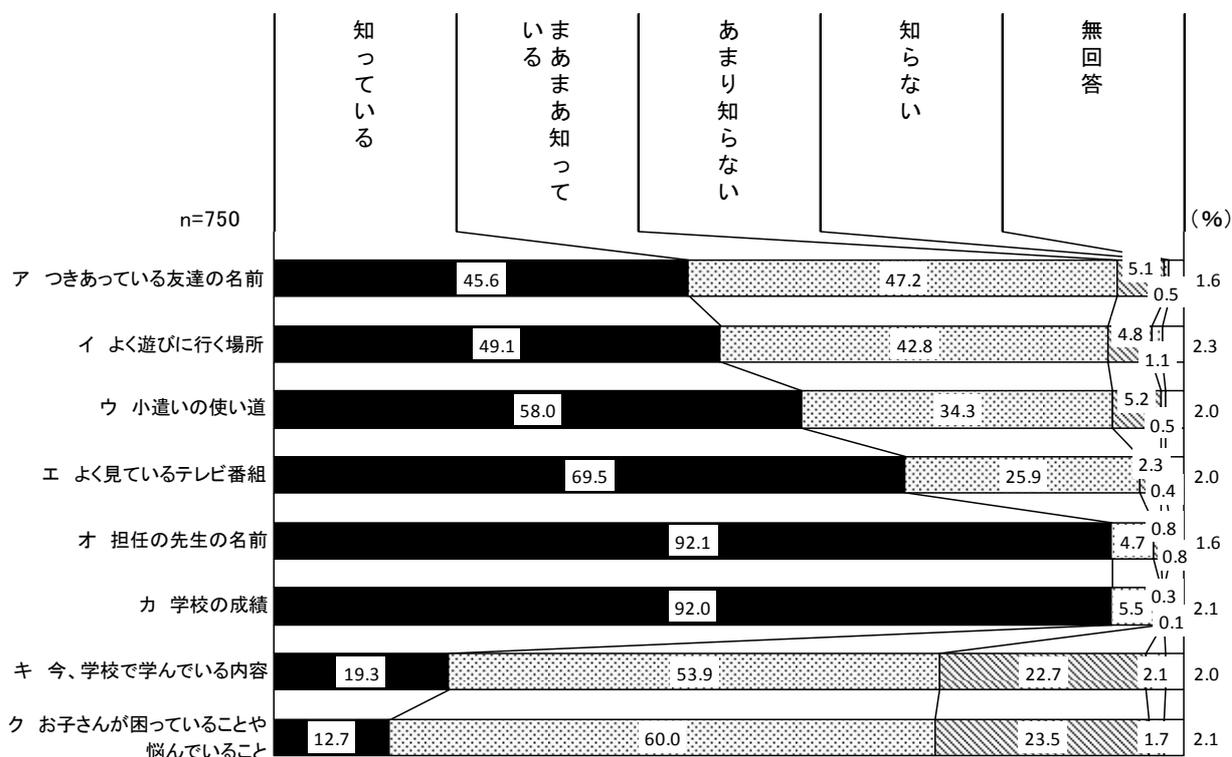
(6) 子どものことで知っていること 問14

◎ あなたは、お子さんに関することをどのくらい知っていますか。ア～クのそれぞれについて、1つ選んで○をしてください。

子どものことで知っていることを聞いたところ、『担任の先生の名前』(92.1%)が最も多く、『学校の成績』(92.0%)、『よく見ているテレビ番組』(69.5%)と続いている。

一方、『今、学校で学んでいる内容』(19.3%)、『お子さんが困っていることや悩んでいること』(12.7%)は2割未満となっている。(図表1(6)1)

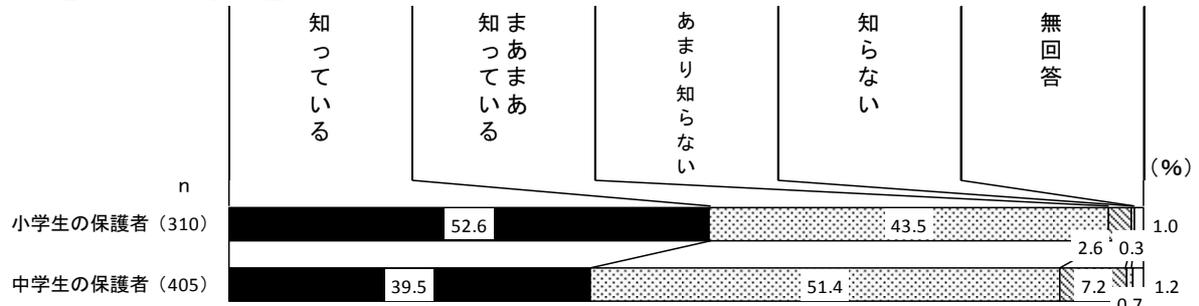
図表1(6)1



子の年代別で見ると、「知っている」と答えた割合は、どの項目においても中学生の保護者が小学生の保護者を下回っており、子の年代が上がるにつれて、子のことで知っていることは減少する傾向にある。(図表1(6)2)

図表1(6)2 子どものことで知っていること(子の年代別)

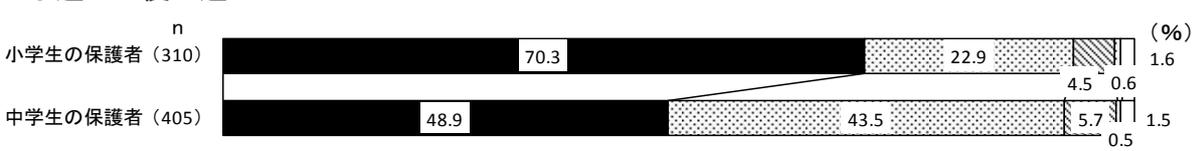
ア つきあっている友達の名前



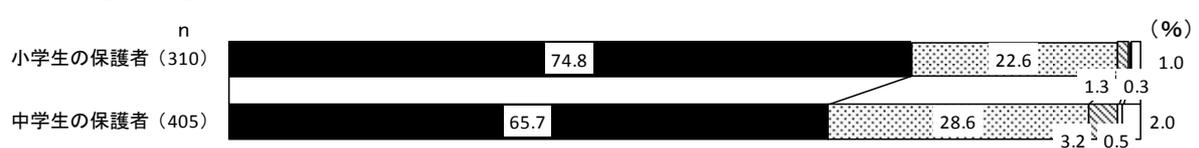
イ よく遊びに行く場所



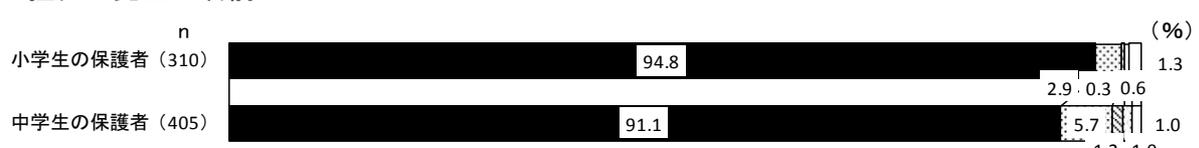
ウ 小遣いの使い道



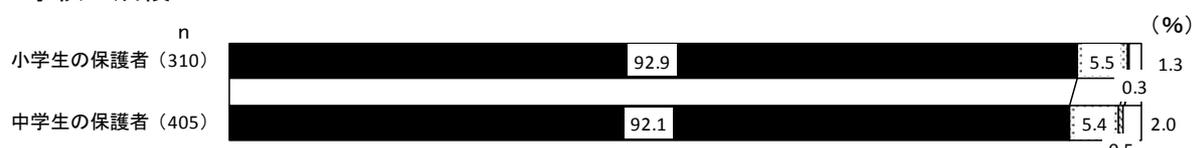
エ よく見ているテレビ番組



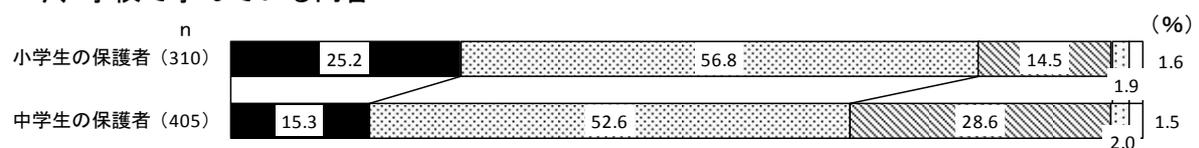
オ 担任の先生の名前



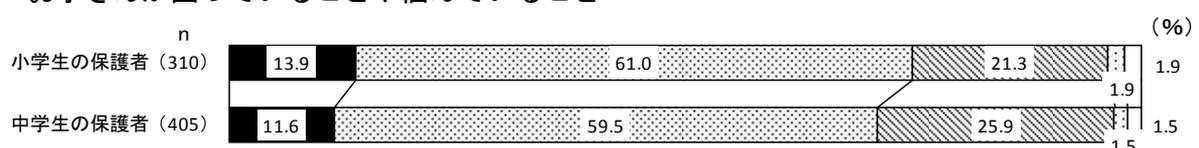
カ 学校の成績



キ 今、学校で学んでいる内容



ク お子さんが困っていることや悩んでいること



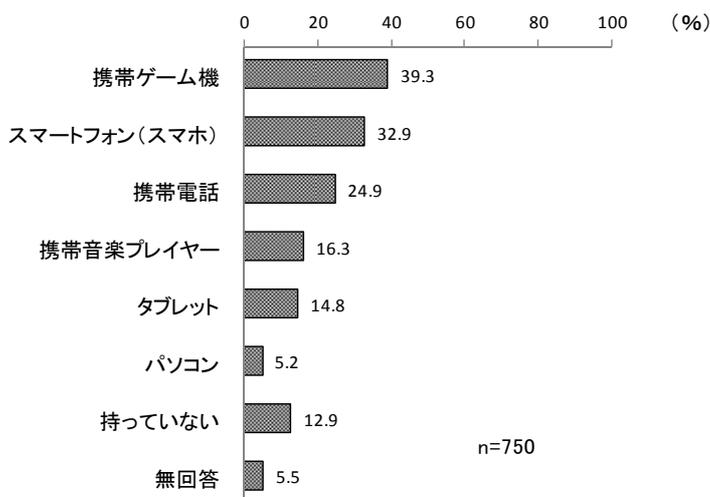
2 携帯電話・スマートフォン、インターネット利用について

(1) インターネットに接続できる子ども専用の機器 問 1 8

◎ お子さんは、次にあげる携帯電話等の機器を自分専用として持っていますか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

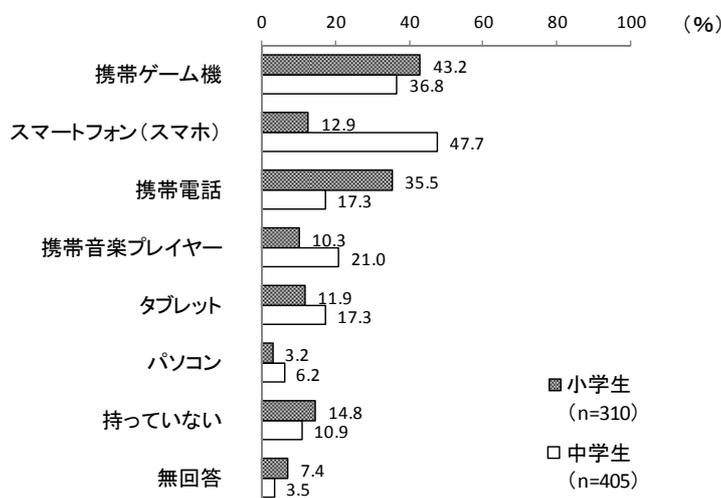
子どもの携帯電話等の保有状況について聞いたところ、「携帯ゲーム機」(39.3%)が最も多く、「スマートフォン(スマホ)」(32.9%)、「携帯電話」(24.9%)と続いている。(図表2(1)1)

図表2(1)1



年代別で見ると、小学生では「携帯ゲーム機」(43.2%)が最も多く、次いで「携帯電話」(35.5%)となっている。一方、中学生では「スマートフォン(スマホ)」(47.7%)が最も多く、次いで「携帯ゲーム機」(36.8%)となっている。(図表2(1)2)

図表2(1)2 子どもの携帯電話等の保有状況(子の年代別)



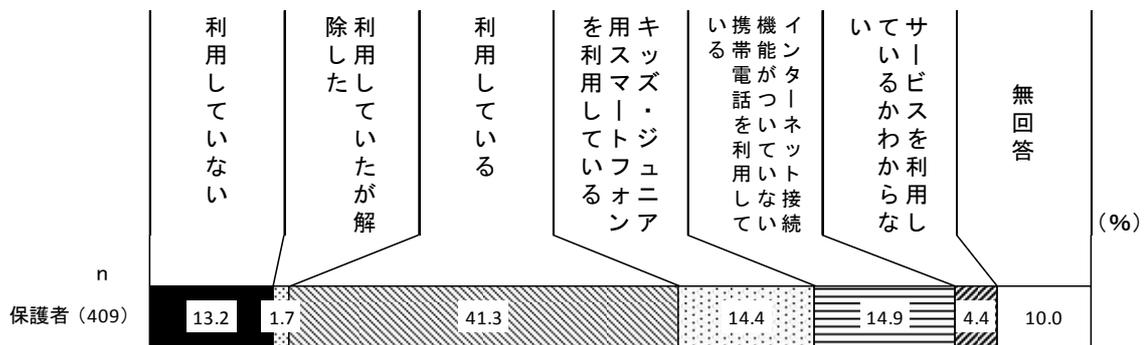
(1-1) 子ども専用の携帯電話等でのフィルタリングサービスの利用状況 問 1 9

(問18で、お子さんが携帯電話もしくはスマートフォンを持っていると回答した人に伺います)

◎ お子さん専用の携帯電話・スマートフォンにフィルタリングサービスを利用していますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

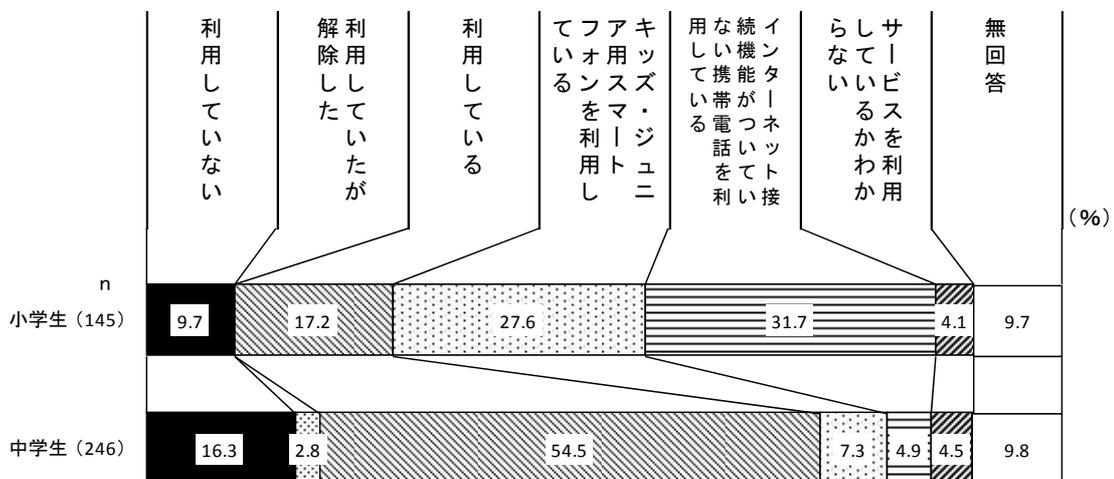
子どもの携帯電話等のフィルタリングサービスの利用状況について聞いたところ、「利用している」(41.3%)が最も多く、「インターネット接続機能がついていない携帯電話を利用している」(14.9%)、「キッズ・ジュニア用スマートフォンを利用している」(14.4%)と続いている。(図表2(1-1)1)

図表2(1-1)1



子の年代別で見ると、小学生では「インターネット接続機能がついていない携帯電話を利用している」(31.7%)が最も多く、次いで「キッズ・ジュニア用スマートフォンを利用している」(27.6%)となっている。一方、中学生では「利用している」(54.5%)が最も多く、次いで「利用していない」(16.3%)となっている。(図表2(1-1)2)

図表2(1-1)2 子ども専用の携帯電話等のフィルタリングサービスの利用状況(子の年代別)



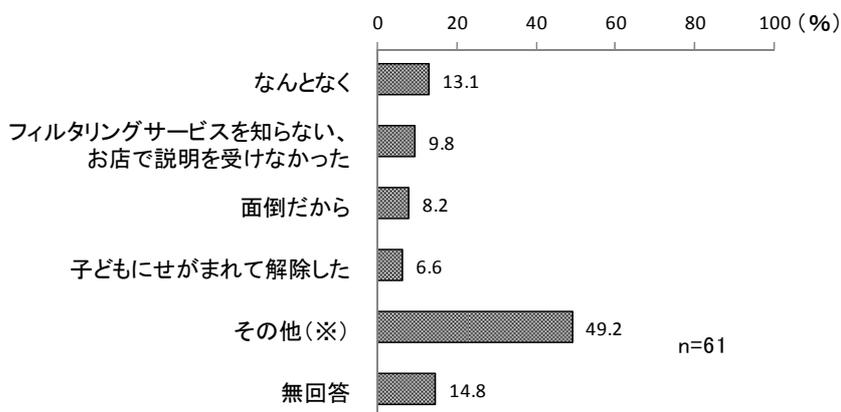
(1-1-1) フィルタリングサービスを利用していない理由 問20

(問19で、お子さん専用の携帯電話等のフィルタリングサービスについて「利用していない」「利用していたが解除した」に○をした人に伺います)

◎ お子さん専用の携帯電話・スマートフォンにフィルタリングサービスを利用していない理由は何ですか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

子どもの携帯電話等のフィルタリングサービスを利用していない理由について聞いたところ、「なんとなく」(13.1%)が最も多く、「フィルタリングサービスを知らない、お店で説明を受けなかった」(9.8%)、「面倒だから」(8.2%)と続いている。(図表2(1-1-1)1)

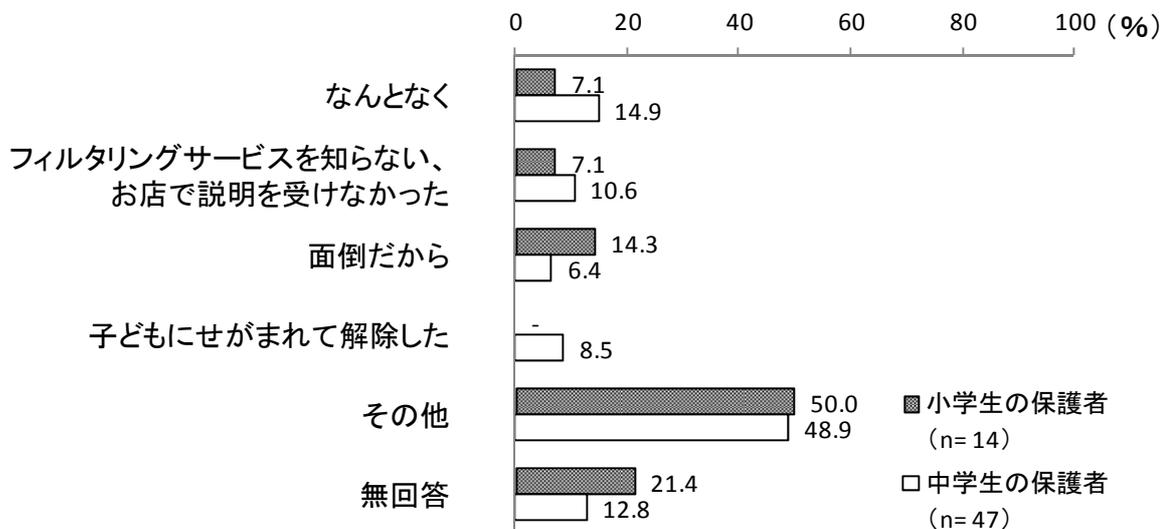
図表2(1-1-1)1



※その他の例：子どもを信用しているから、通話にしか使用しないからなど

子の年代別で見ると、小学生の保護者では「面倒だから」(14.3%)が、中学生の保護者では「なんとなく」(14.9%)が最も高くなっている。(図表2(1-1-1)2)

図表2(1-1-1)2 子どもの携帯電話等のフィルタリングサービスを利用していない理由(子の年代別)



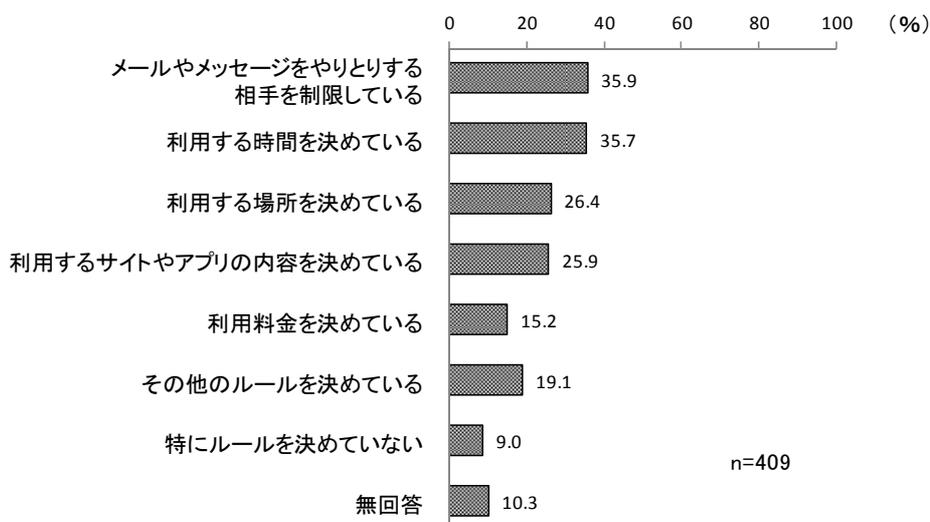
(1-2) 子ども専用の携帯電話等の利用のルール 問 2 1

(問18で、お子さんが携帯電話もしくはスマートフォンを持っていると回答した人に伺います)

◎ お子さん専用の携帯電話・スマートフォンの使用について家庭内のルールを決めていますか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

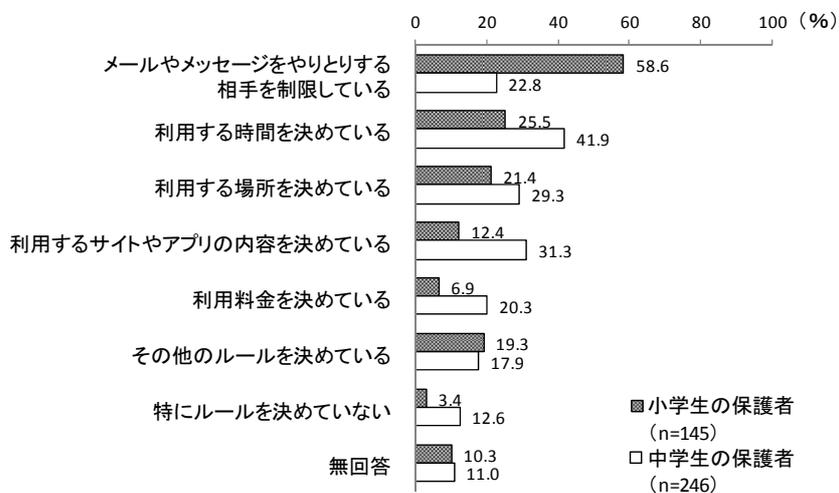
子どもの携帯電話等の利用のルールについて聞いたところ、「メールやメッセージをやりとりする相手を制限している」(35.9%)が最も多く、「利用する時間を決めている」(35.7%)、「利用する場所を決めている」(26.4%)と続いている。(図表2(1-2)1)

図表2(1-2)1



子の年代別で見ると、小学生の保護者では「メールやメッセージをやりとりする相手を制限している」(58.6%)が、中学生の保護者では「利用する時間を決めている」(41.9%)が最も高くなっている。(図表2(1-2)2)

図表2(1-2)2 子ども専用の携帯電話等の利用のルール(子の年代別)



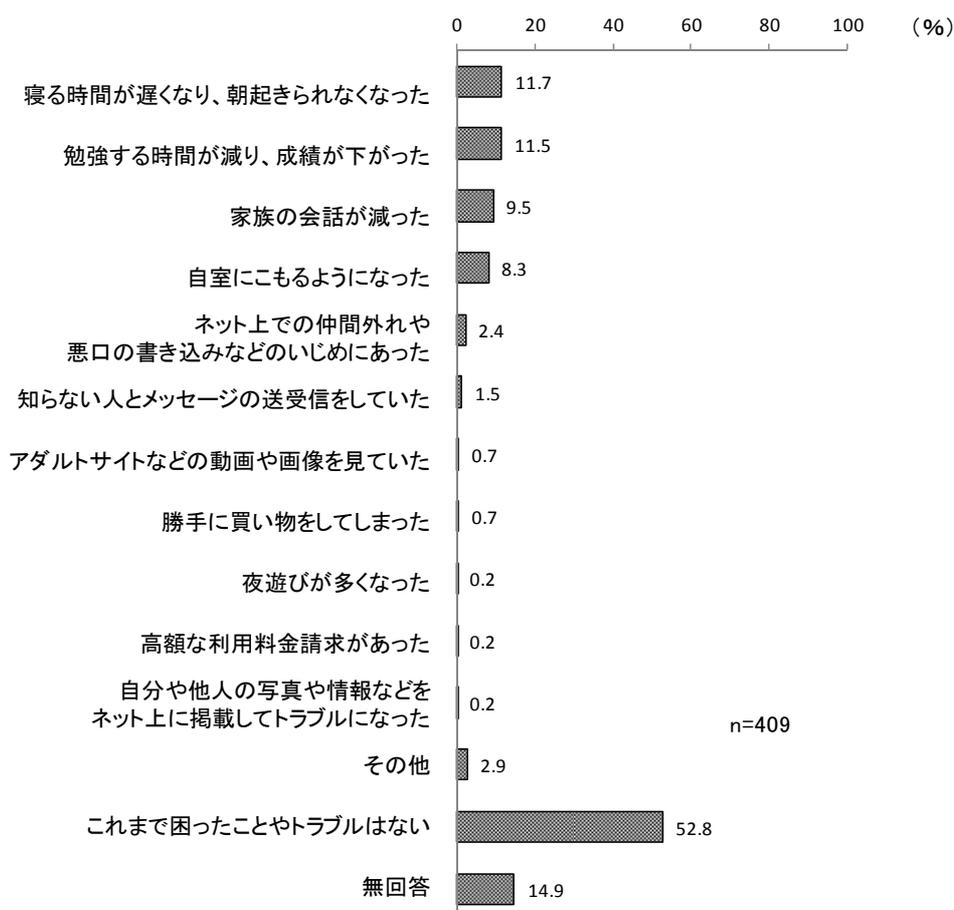
(1-3) 子ども専用の携帯電話等の利用トラブル 問22

(問18で、お子さんが携帯電話もしくはスマートフォンを持っていると回答した人に伺います)

◎ お子さんの携帯電話、スマートフォンの使用について、これまでに困ったことやトラブルになったことがありますか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

携帯電話等の利用トラブルについて聞いたところ、「寝る時間が遅くなり、朝起きられなくなった」(11.7%)が最も多く、「勉強する時間が減り、成績が下がった」(11.5%)、「家族の会話が減った」(9.5%)と続いている。(図表2(1-3)1)

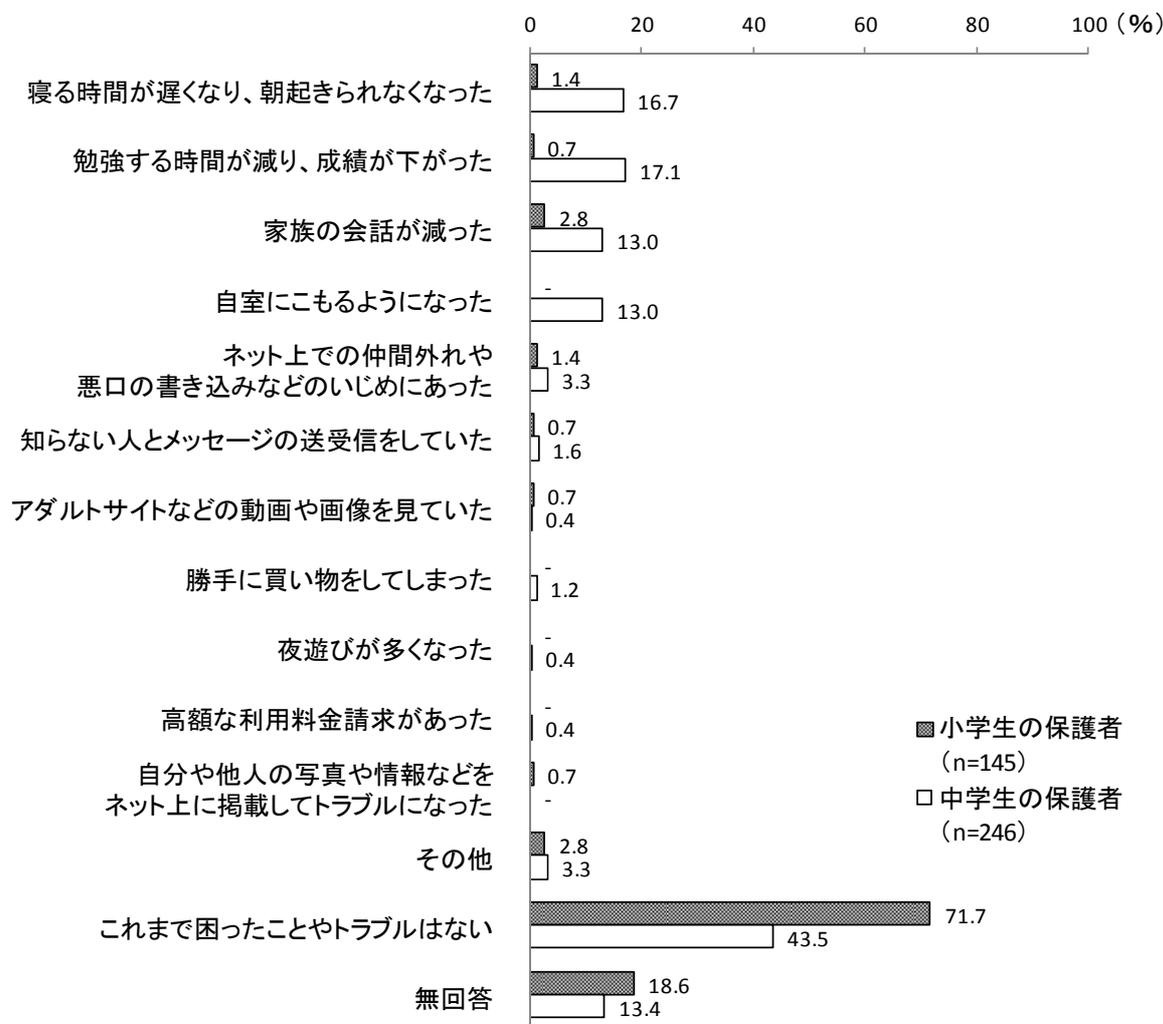
図表2(1-3)1



子の年代別で見ると、「これまで困ったことやトラブルはない」と答えた割合は、小学生の保護者(71.7%)に対して、中学生の保護者(43.5%)が28.2ポイント低くなっている。

利用トラブルの内容は、中学生では「勉強する時間が減り、成績が下がった」(17.1%)が最も多く、次いで「寝る時間が遅くなり、朝起きられなくなった」(16.7%)となっている。(図表2(1-3)2)

図表2(1-3)2 子ども専用の携帯電話等の利用トラブル(子の年代別)



3 しつけ、子育ての方針や悩みについて

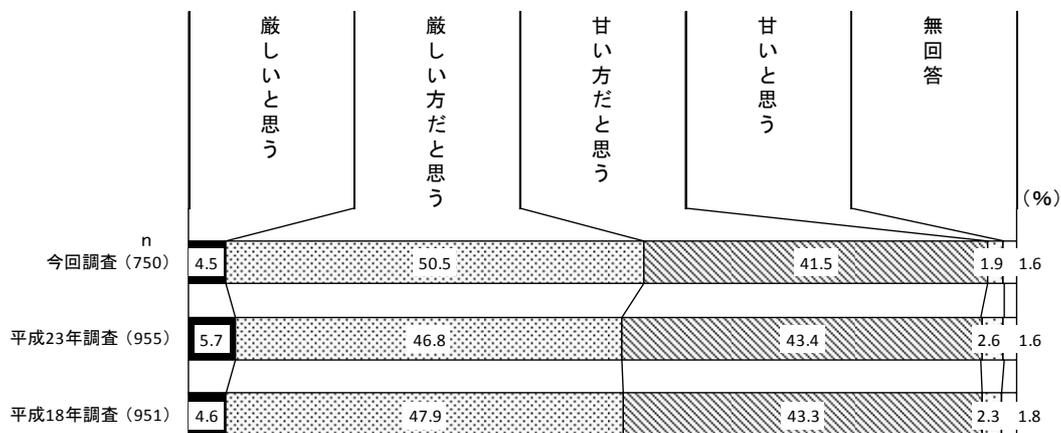
(1) 子どものしつけに対する意識 問15

◎ あなたは、お子さんに対するしつけについてどう感じていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

子どものしつけに対する意識について聞いたところ、「厳しいと思う」と「厳しい方だと思う」を合わせた《厳しい》の割合は 55.0%で「甘いと思う」と「甘い方と思う」を合わせた《甘い》の割合は 43.4%となっている。

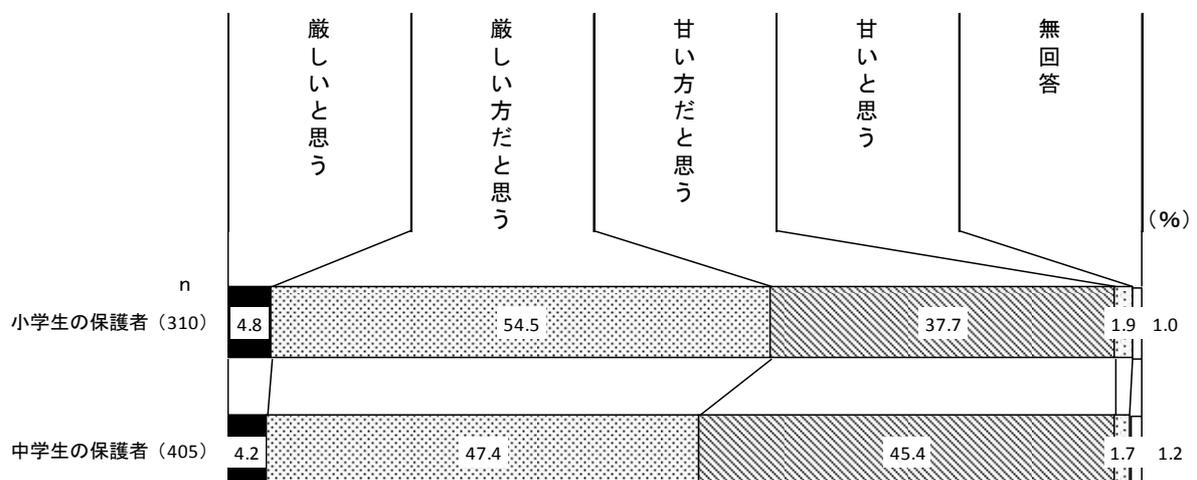
経年変化で見ると、《厳しい》が平成 23 年調査より 2.5 ポイント高くなっている。(図表 3 (1) 1)

図表 3 (1) 1



子の年代別で見ると、小学生の保護者が中学生の保護者より《厳しい》が 7.7 ポイント高くなっている。(図表 3 (1) 2)

図表 3 (1) 2 子どものしつけに対する意識 (子の年代別)



(2) 親からのしつけについての意識 問 1 6

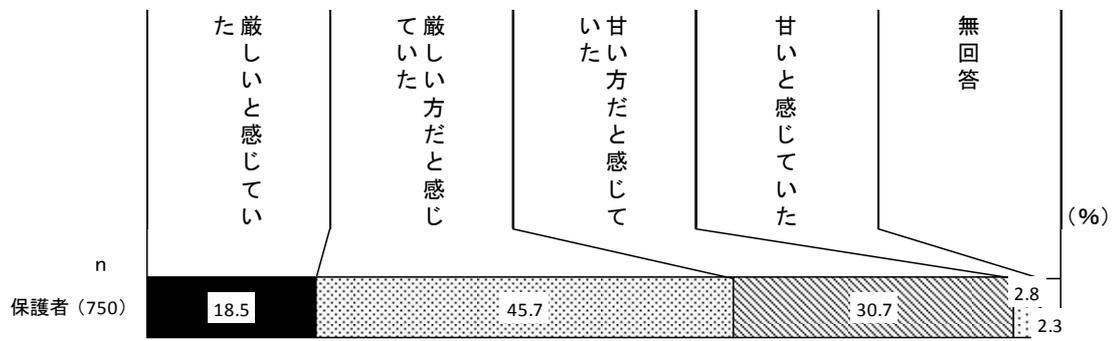
◎ あなたは子どものころ、親からのしつけについてどう感じていましたか。また、それはあなたのお子さんに対するしつけと比べてどうですか。それぞれについて、1つ選んで○をしてください。

親からのしつけについての意識について聞いてみると、「厳しいと感じていた」と「厳しい方だと感じていた」を合わせた《厳しい》の割合は64.2%で、「甘いと感じていた」と「甘い方だと感じていた」を合わせた《甘い》の割合は33.5%となっている。

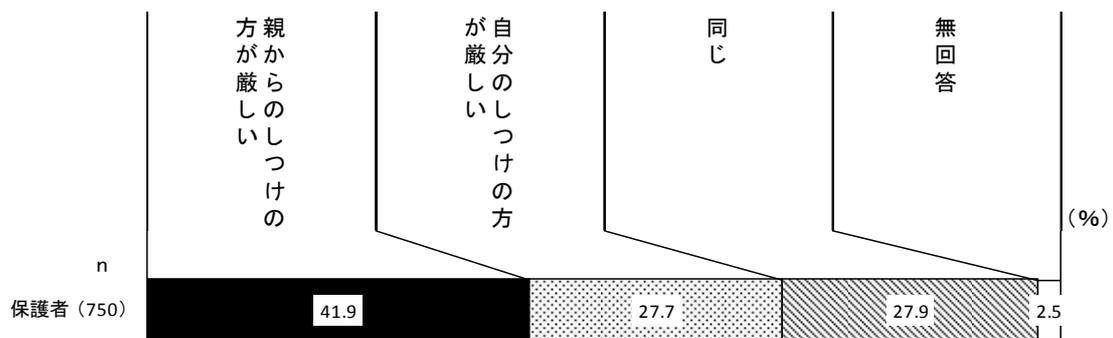
また、自分の子どもに対するしつけと比べて「親からのしつけの方が厳しい」と回答したのは41.9%であった。(図表3(2)1)

図表3(2)1

a) 親からのしつけ



b) あなたのお子さんに対するしつけと比べて

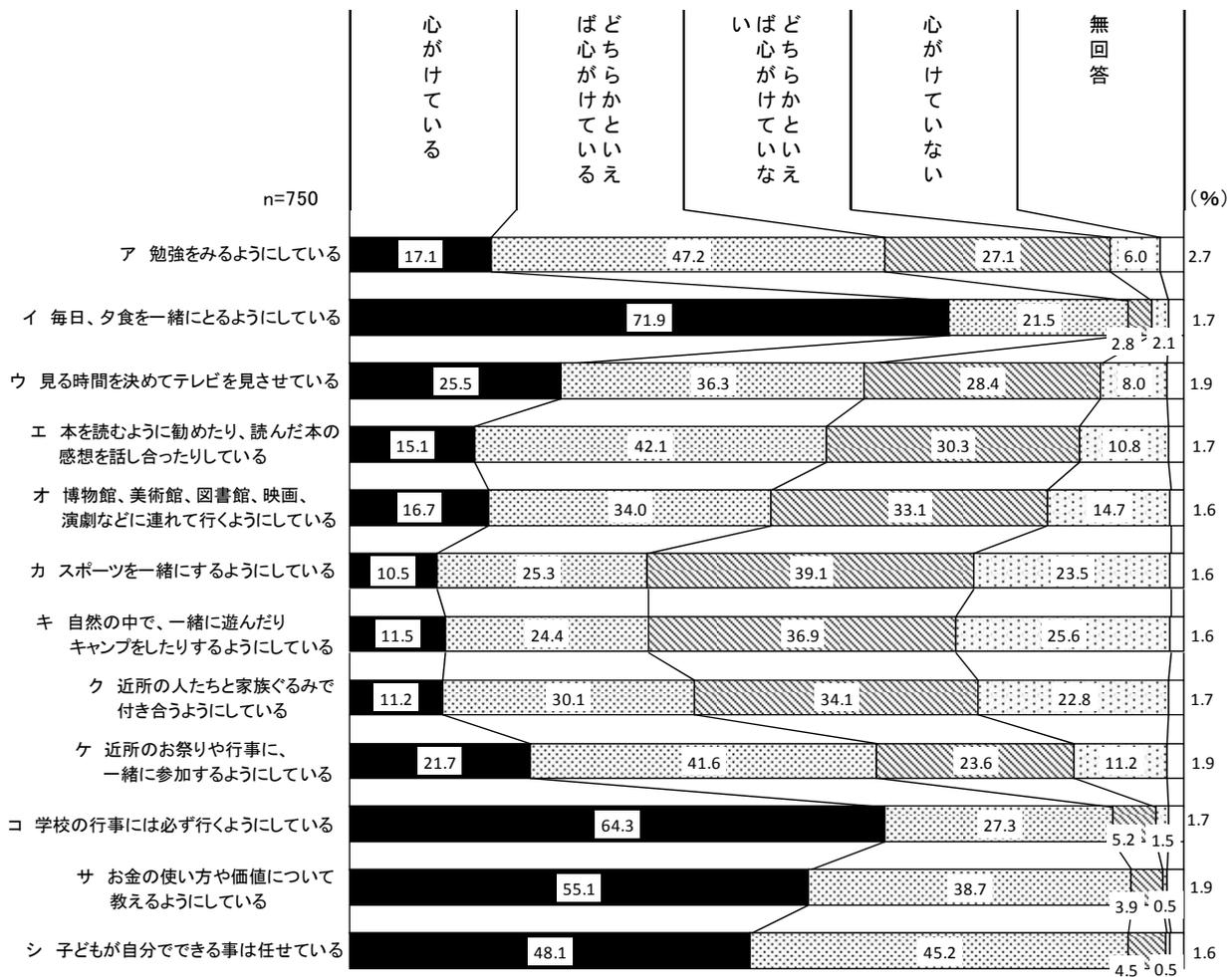


(3) しつけや教育について心がけていること 問 1 7

◎ お子さんの教育やしつけについて、あなたが心がけている事をうかがいます。ア～シのそれぞれについて、1つ選んで○をしてください。

しつけや教育について心がけていることについて聞いたところ、「心がけている」と「どちらかといえば心がけている」を合わせた《心がけている》の割合は、『お金の使い方や価値について教えようになっている』(93.8%)、『毎日、夕食を一緒にとるようにしている』(93.4%)、『子どもが自分でできる事は任せている』(93.3%)、『学校の行事には必ず行くようにしている』(91.6%)が9割を超えている。一方、『自然の中で一緒に遊んだりキャンプをしたりするようにしている』(35.9%)や『スポーツを一緒にするようにしている』(35.8%)は3割半ばとなっている。(図表3(3)1)

図表3(3)1

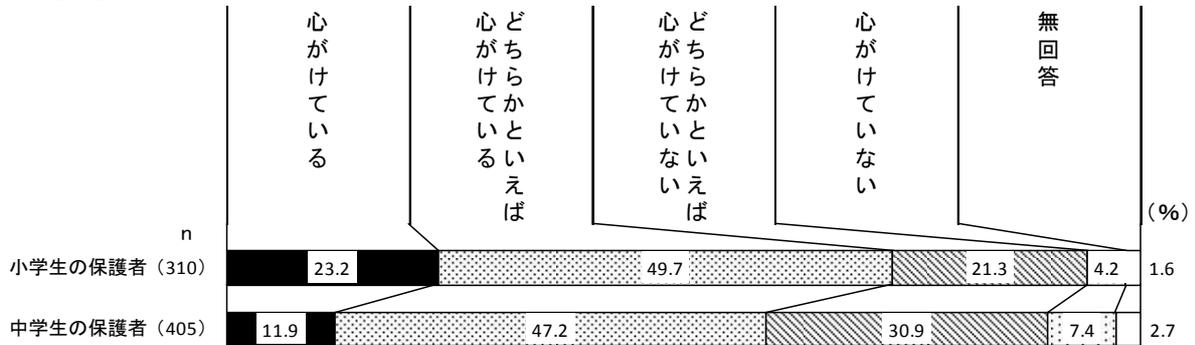


子の年代別で見ると、「心がけている」と「どちらかといえば心がけている」を合わせた「心がけている」の割合はいずれの項目も小学生の保護者が中学生の保護者より高くなっている。

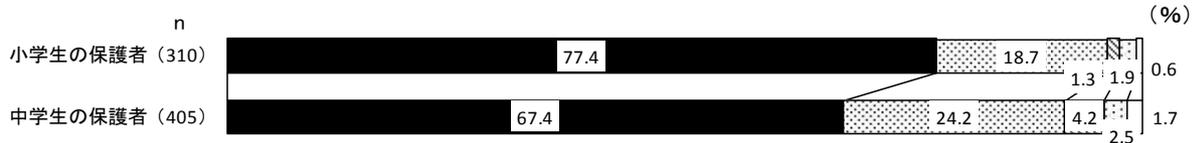
(図表3 (3) 2)

図表3 (3) 2 しつけや教育について心がけていること (子の年代別)

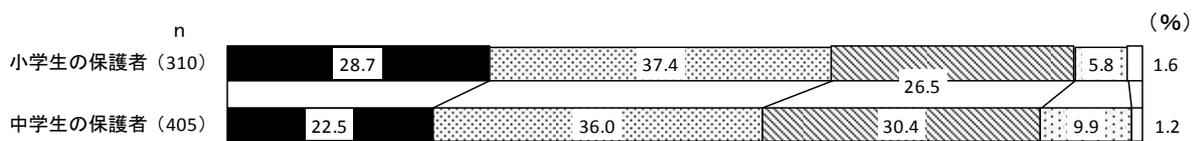
ア 勉強をみるようにしている



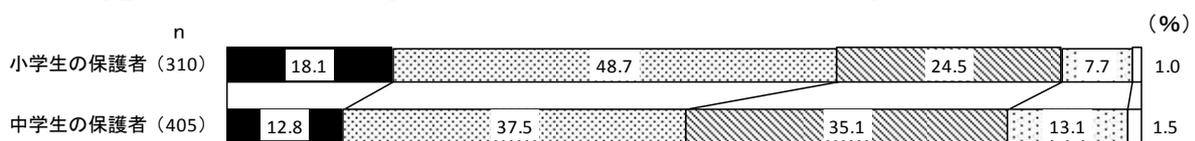
イ 毎日、夕食を一緒にとるようにしている



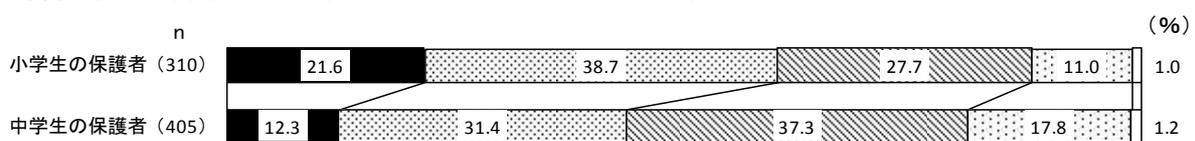
ウ 見る時間を決めてテレビを見させている



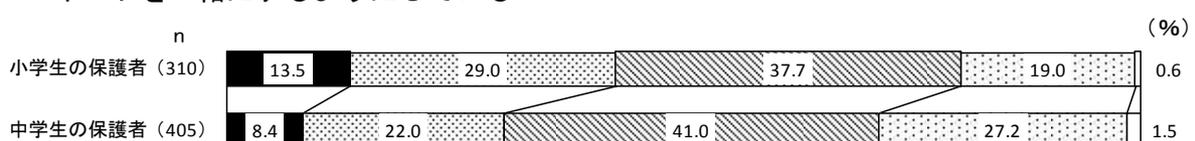
エ 本を読むように勧めたり、読んだ本の感想を話し合ったりしている



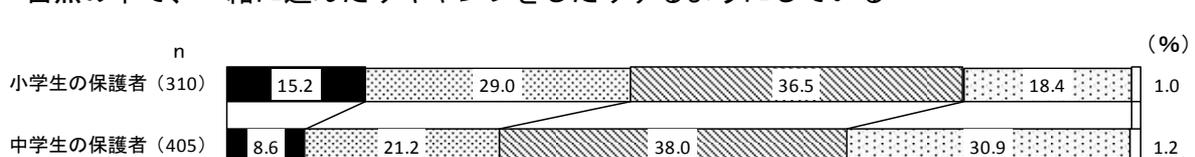
オ 博物館、美術館、図書館、映画、演劇などに連れて行くようにしている



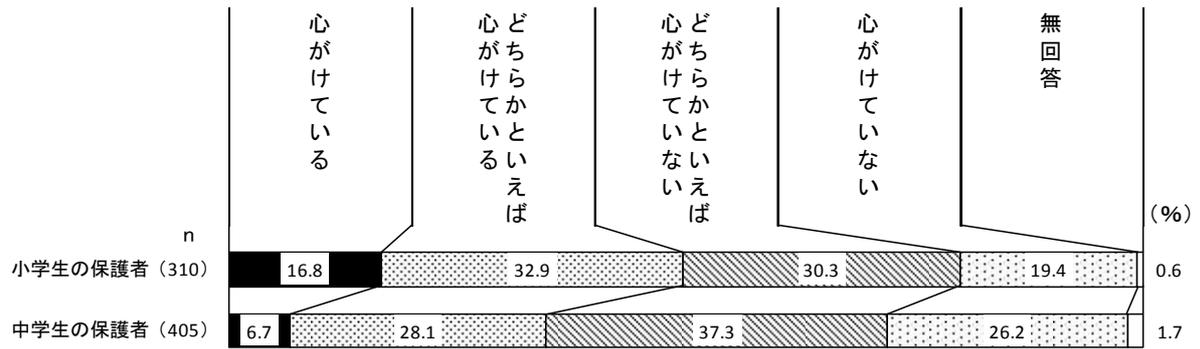
カ スポーツを一緒にするようにしている



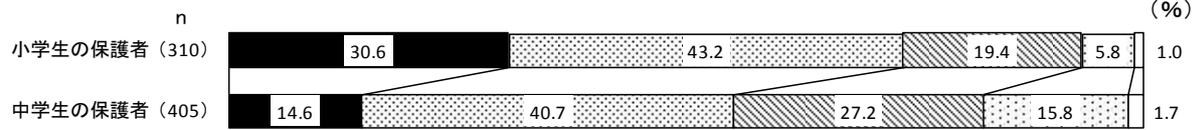
キ 自然の中で、一緒に遊んだりキャンプをしたりするようにしている



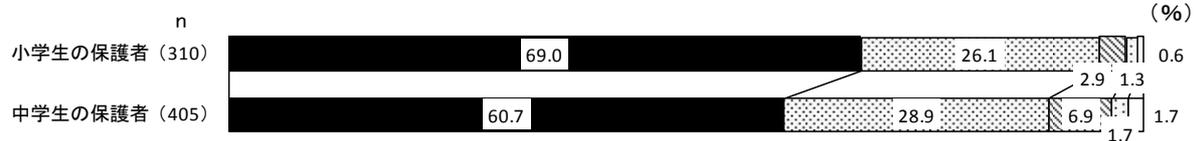
ク 近所の人たちと家族ぐるみで付き合いようになっている



ケ 近所のお祭りや行事に、一緒に参加するようになっている



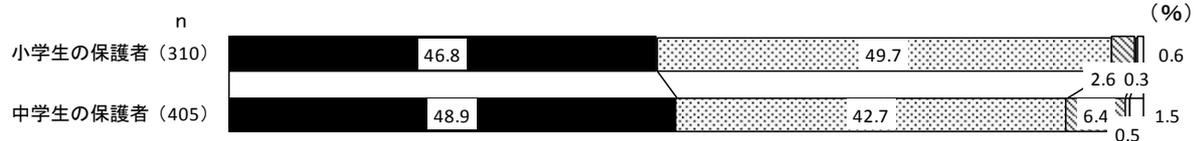
コ 学校の行事には必ず行くようになっている



サ お金の使い方や価値について教えるようになっている



シ 子どもが自分でできる事は任せている

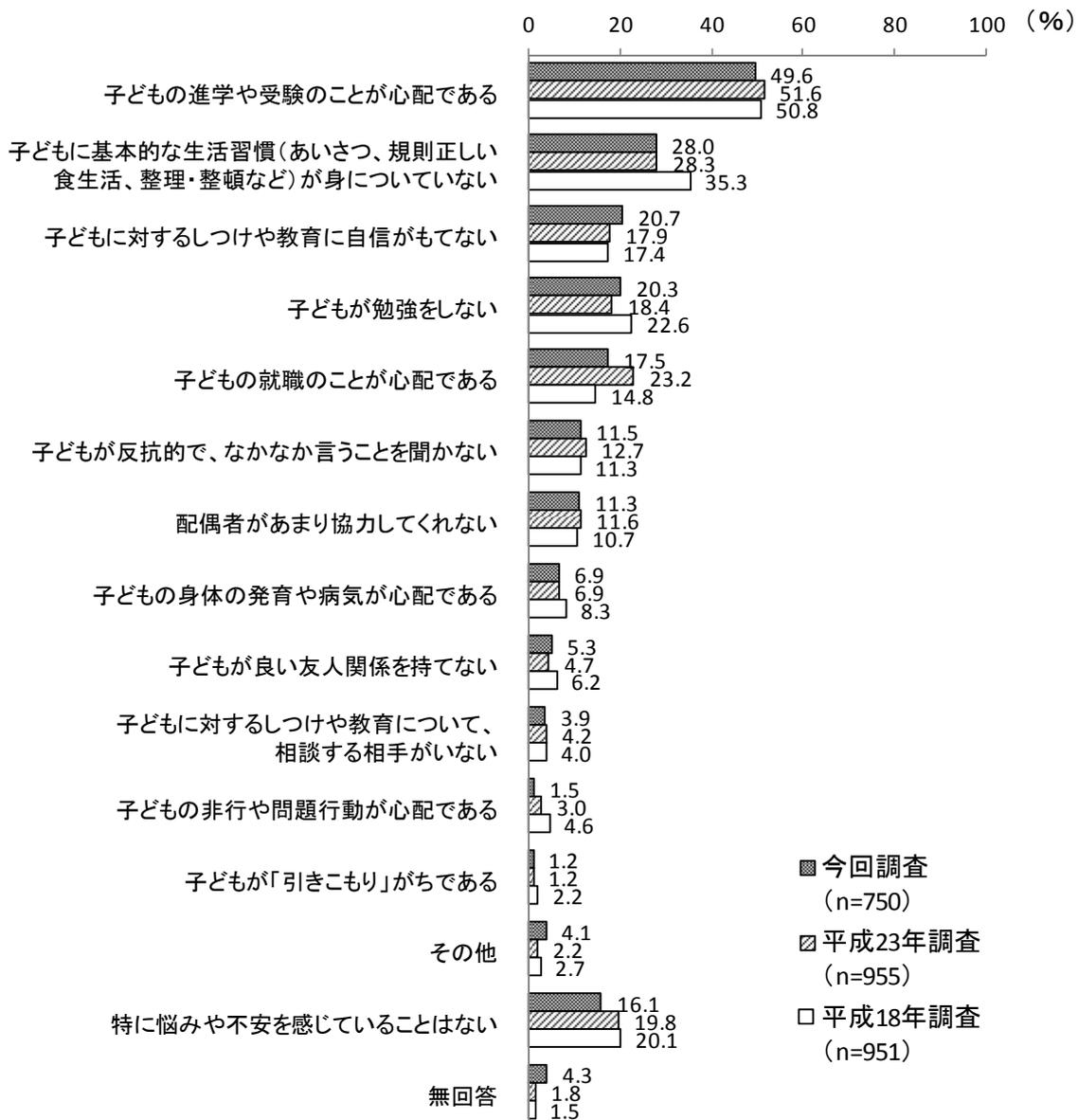


(4) しつけや教育での悩み・不安 問23

◎ あなたは、お子さんのしつけや教育について、悩んだり、不安を感じていることがありますか。あるとすればどのようなことでしょうか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。しつけや教育での悩み・不安について聞いたところ、「子どもの進学や受験のことが心配である」(49.6%)が最も多く、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活整理、整頓など)が身につけていない」(28.0%)、「子どもに対するしつけや教育に自信がもてない」(20.7%)と続いている。

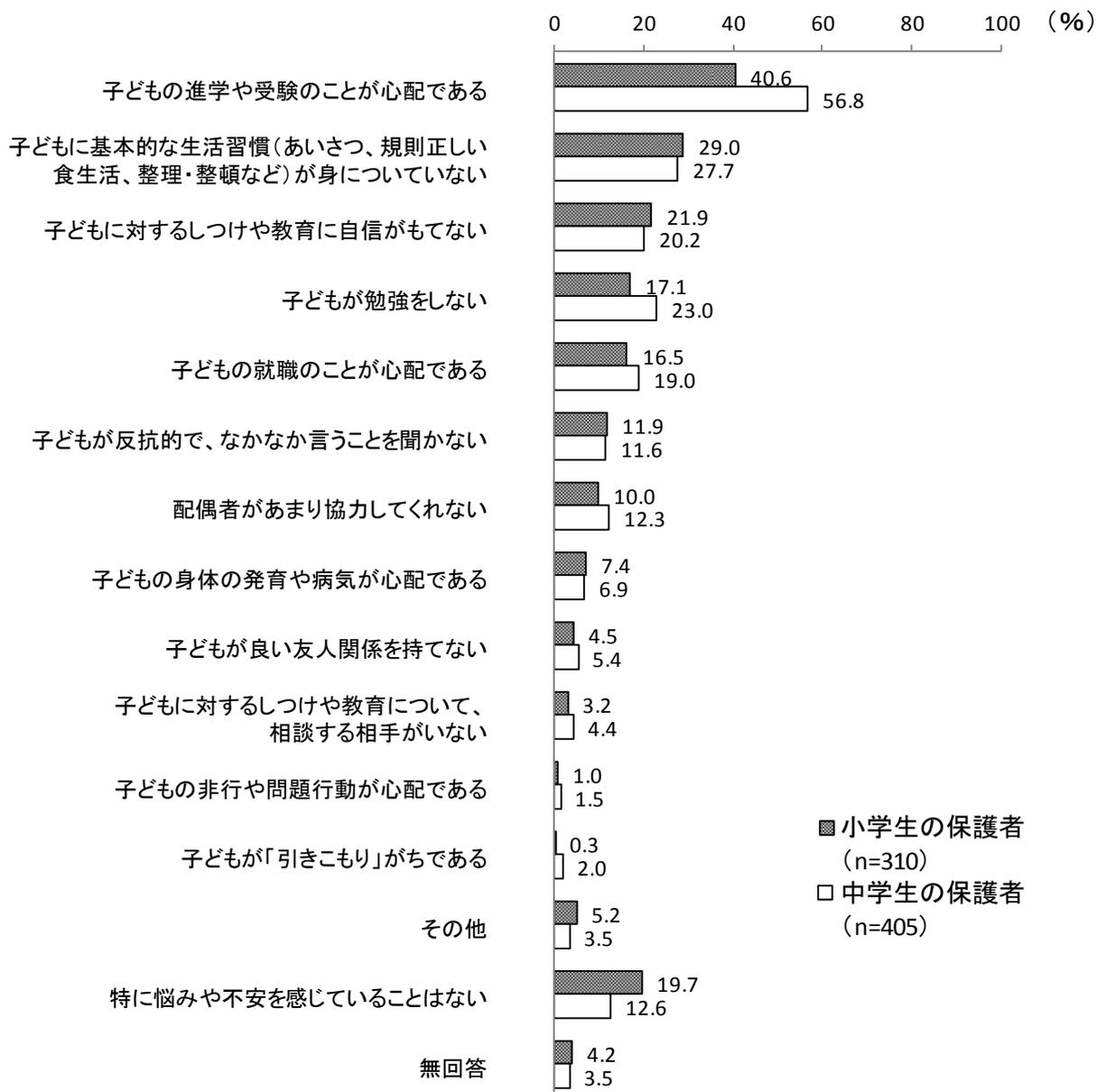
経年変化で見ると、「子どもに対するしつけや教育に自信がもてない」は増加傾向が見られる。一方、「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理、整頓など)が身につけていない」は減少傾向が見られた。(図表3(4)1)

図表3(4)1



子の年代別で見ると、小学生の保護者・中学生の保護者ともに「子どもの進学や受験のことが心配である」が最も多く、次いで「子どもに基本的な生活習慣(あいさつ、規則正しい食生活、整理・整頓など)が身に付いていない」となっている。(図表3(4)2)

図表3(4)2 しつけや教育での悩み・不安(子の年代別)



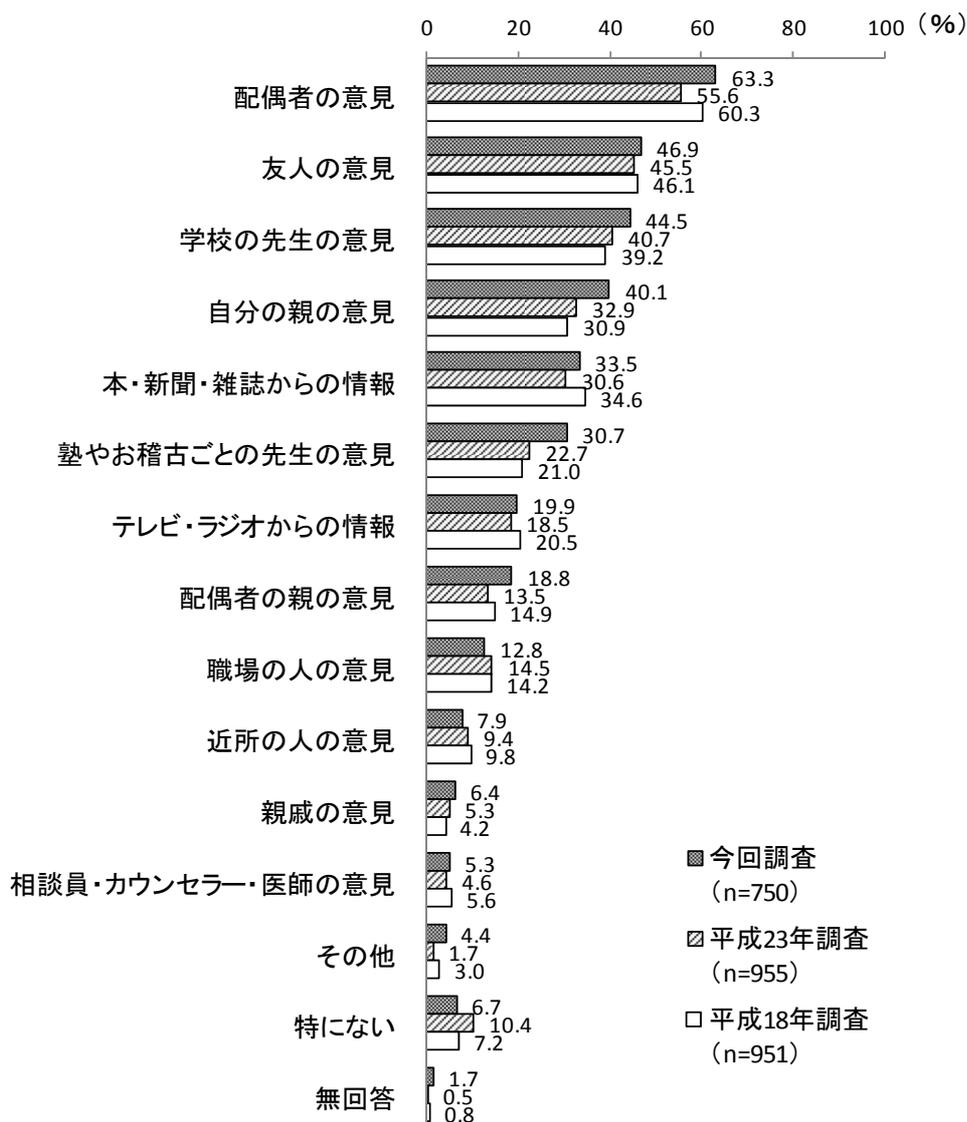
(5) しつけや教育で参考とするもの 問24

◎ お子さんのしつけや教育に当たって、あなたが特に参考とするものは何ですか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

しつけや教育で参考とするものを聞いたところ、「配偶者の意見」(63.3%)が最も多く、「友人の意見」(46.9%)、「学校の先生の意見」(44.5%)と続いている。

経年変化で見ると、「自分の親の意見」と「塾やお稽古ごとの先生の意見」は増加傾向が見られた。(図表3(5)1)

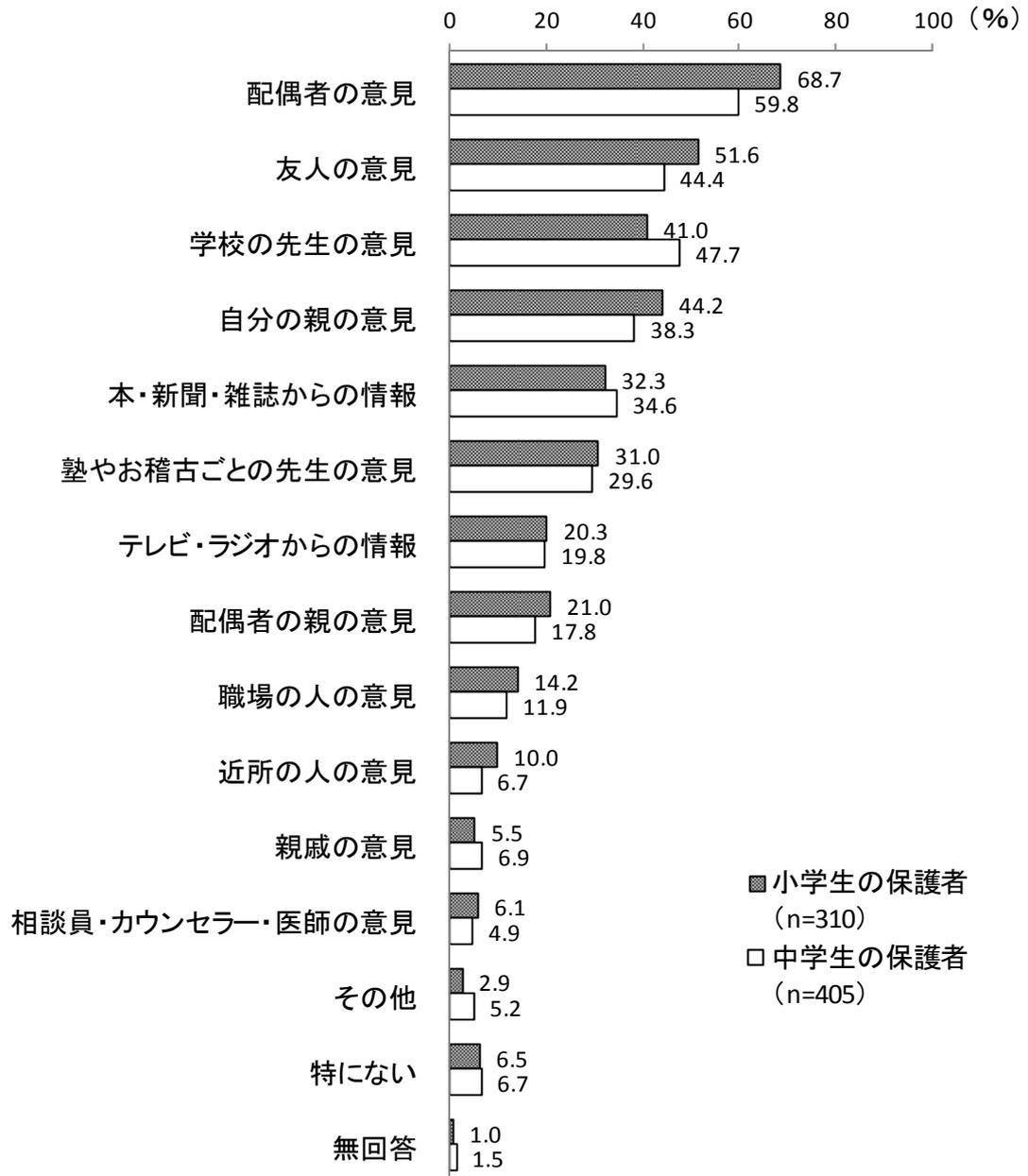
図表3(5)1



子の年代別で見ると、小学生の保護者では「配偶者の意見」(68.7%)が最も多く、「友人の意見」(51.6%)、「自分の親の意見」(44.2%)と続いている。

一方、中学生の保護者では「配偶者の意見」(59.8%)が最も多く、「学校の先生の意見」(47.7%)、「友人の意見」(44.4%)と続いている。(図表3(5)2)

図表3(5)2 しつけや教育で参考とするもの(年代別)



(6) 子育てへの考え方 問25

◎ 子育てに関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。それぞれについて、1つ選んで○をしてください。

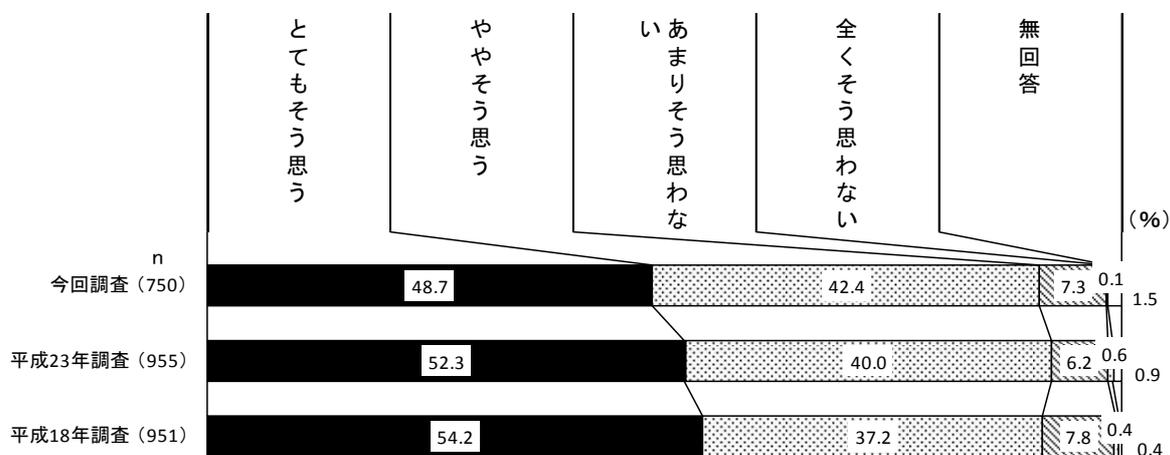
子育てへの考え方を聞いたところ、『子育ては、楽しみや生きがいである』では、「とても思う」と「やや思う」を合わせた《思う》の割合は91.1%となっている。

『子育ては、つらく、苦勞が多い』では、《思う》の割合が54.1%となっている。

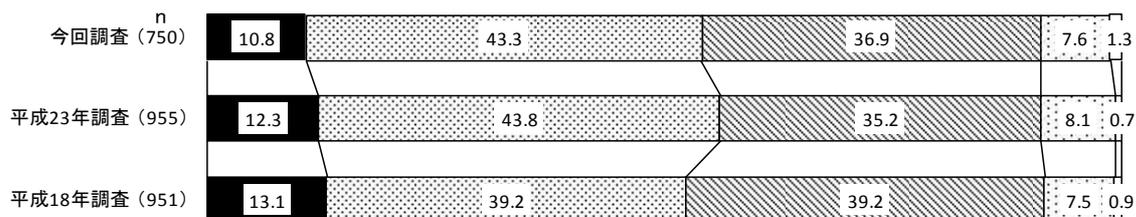
経年変化で見ると、傾向に大きな違いは見られなかった。(図表3(6)1)

図表3(6)1

a) 子育ては、楽しみや生きがいである



b) 子育ては、つらく、苦勞が多い



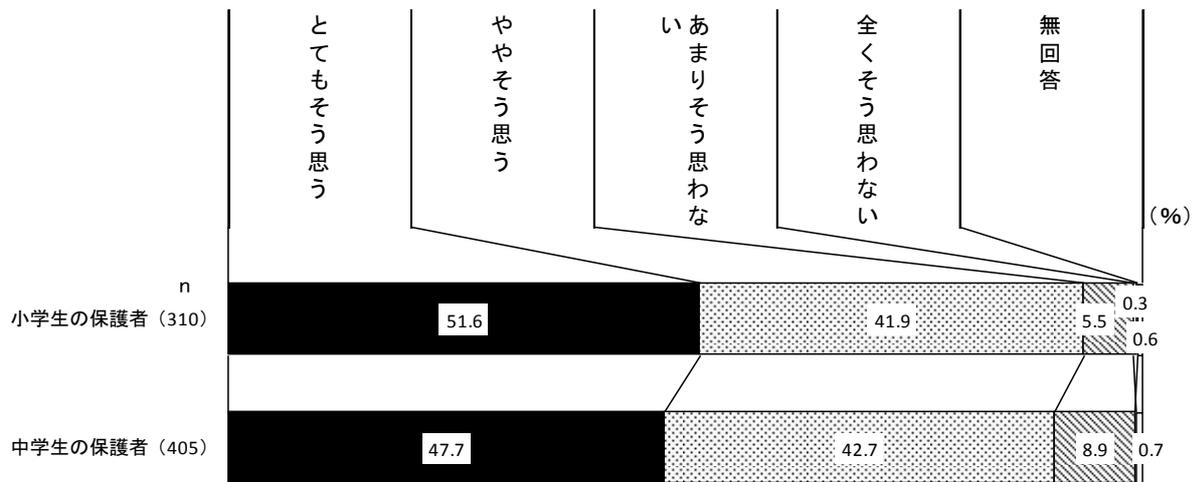
子の年代別で見ると、『子育ては、楽しみや生きがいである』では、「とても思う」が小学生の保護者では51.6%で中学生の保護者より3.9ポイント高くなっている。

『子育ては、つらく、苦勞が多い』では「とてもそう思う」は中学生の保護者では12.6%で小学生の保護者より3.9ポイント高くなっている。

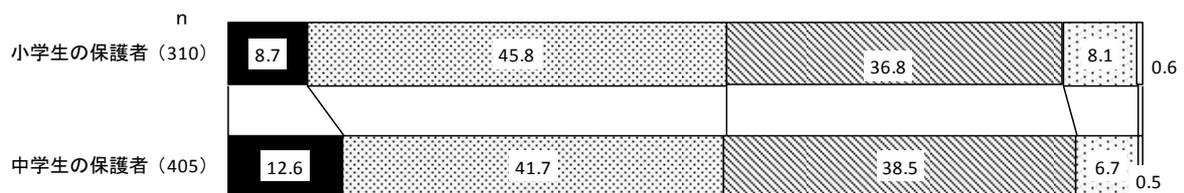
総じて、子の年代が上がるにつれて、子育てをつらく苦勞が多いと感じる傾向にある。(図表3(6)2)

図表3(6)2 子育てへの考え方(子の年代別)

a) 子育ては、楽しみや生きがいである



b) 子育ては、つらく、苦勞が多い



(7) 子どもに望むこと 問26

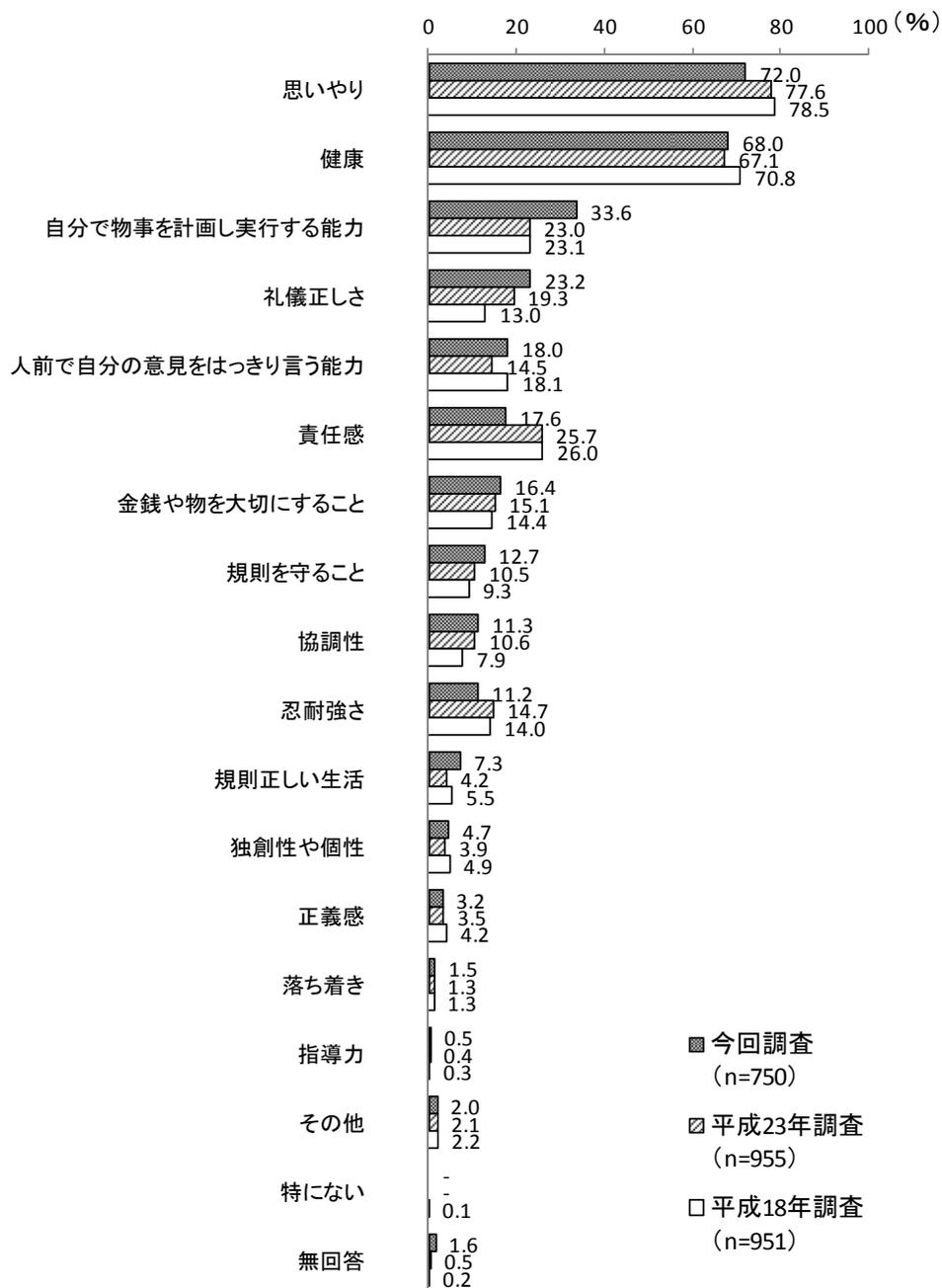
◎ あなたがお子さんに望むことは何ですか。次の中から主なものを3つまで選んで○をしてください。

子どもに望むことについて聞いたところ、「思いやり」(72.0%)が最も多く、「健康」(68.0%)、「自分で物事を計画し実行する能力」(33.6%)と続いている。

経年変化で見ると「自分で物事を計画し実行する能力」、「礼儀正しさ」に増加傾向が見られた。

(図表3 (7) 1)

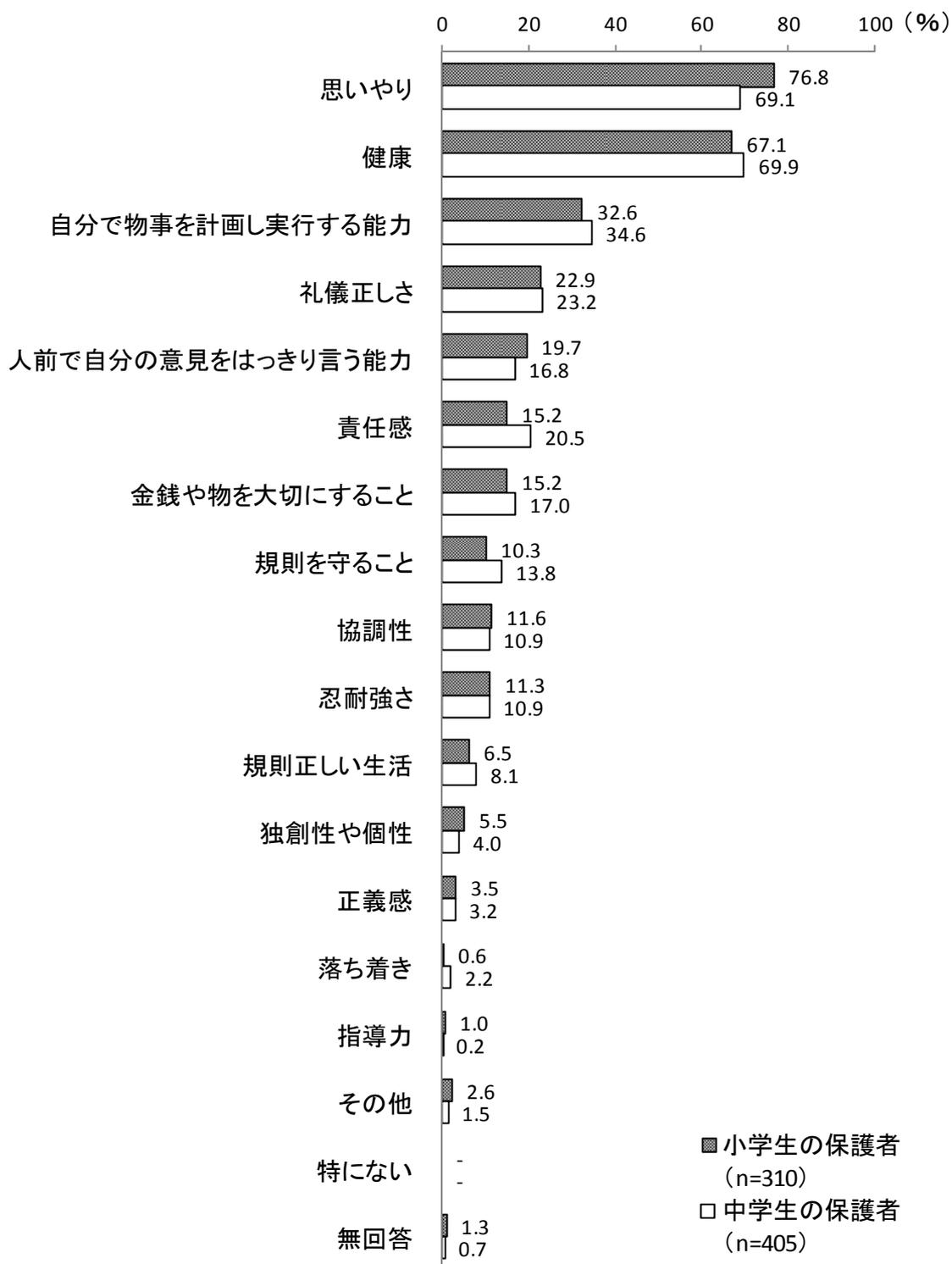
図表3 (7) 1



子の年代別で見ると、小学生の保護者では「思いやり」(76.8%)が最も多く、「健康」(67.1%)、「自分で物事を計画し実行する能力」(32.6%)が続いている。

一方、中学生の保護者では「健康」(69.9%)が最も多く、「思いやり」(69.1%)、「自分で物事を計画し実行する能力」(34.6%)と続いている。(図表3(7)2)

図表3(7)2 子どもに望むこと(子の年代別)

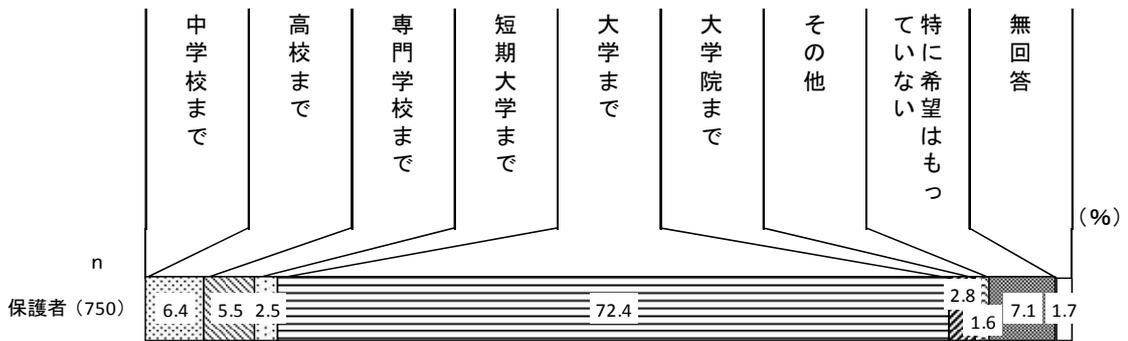


(8) 子どもに望む学歴 問27

◎ あなたは、お子さんに理想的にはどの段階の学校まで進んでほしいと思いますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

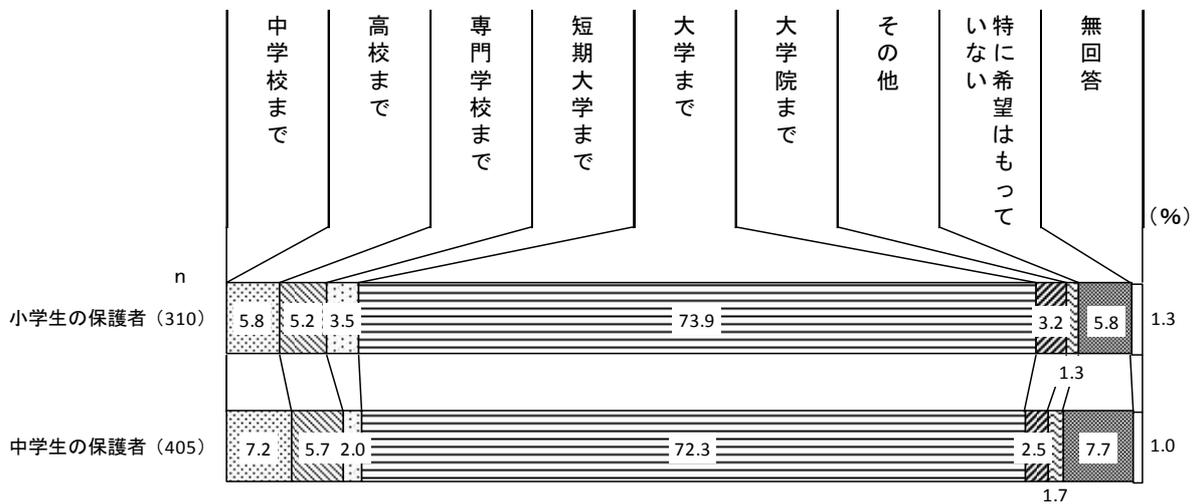
子どもに望む学歴について聞いたところ、「大学まで」(72.4%)が最も多くなっている。(図表3(8)1)

図表3(8)1



子の年代別で見ると、小学生の保護者・中学生の保護者ともに「大学まで」が7割を超えており、大きな差は見られなかった。(図表3(8)2)

図表3(8)2 子どもに望む学歴(子の年代別)



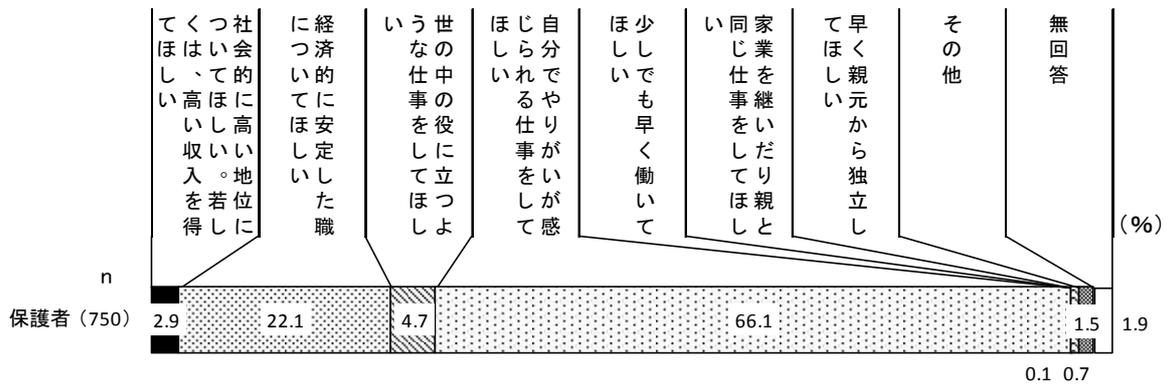
(9) 子どもの将来への望み 問28

◎ あなたは、お子さんの将来についてどのようになってほしいと望んでいますか。次の中からあなたの考えに一番近いものを1つ選んで○をしてください。

子どもの将来への望みについて聞いたところ、「自分でやりがいを感じられる仕事をしてほしい」(66.1%) が最も多く、「経済的に安定した職についてほしい」(22.1%) と続いている。

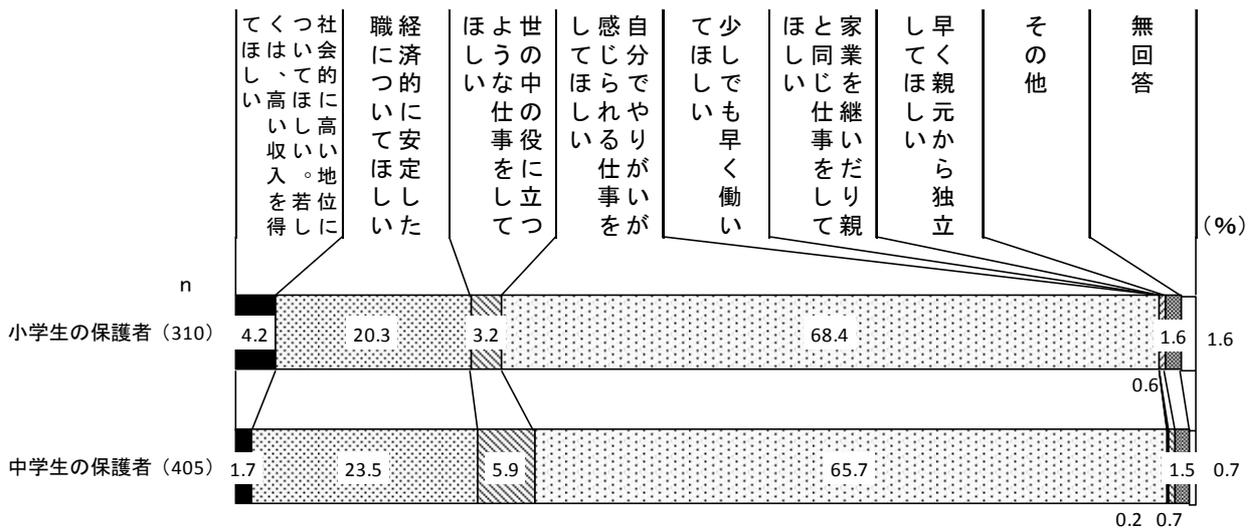
(図表3 (9) 1)

図表3 (9) 1



子の年代別で見ると、傾向に大きな違いは見られなかった。(図表3 (9) 2)

図表3 (9) 2 子どもの将来への望み (子の年代別)



(10) 子どもが夢をかなえたり希望する仕事をするために必要なこと

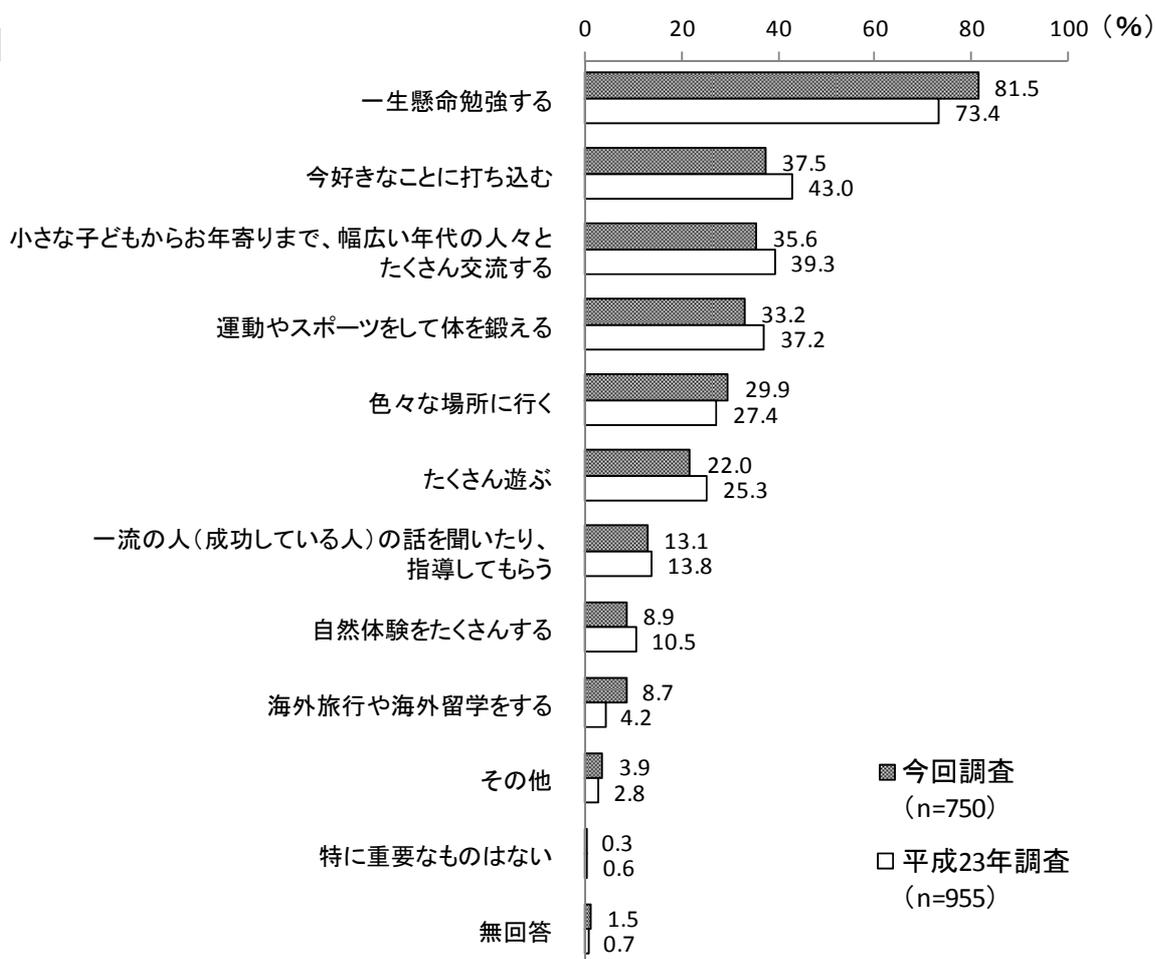
問 2 9

◎ あなたは、お子さんが将来「夢を実現する」、「希望の職業に就く」ためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んで○をしてください。

子どもが夢をかなえたり希望する仕事をするために必要なことについて聞いたところ、「一生懸命勉強する」(81.5%)が最も多く、「今好きなことに打ち込む」(37.5%)、「小さな子どもからお年寄りまで幅広い年代の人々とたくさん交流する」(35.6%)と続いている。

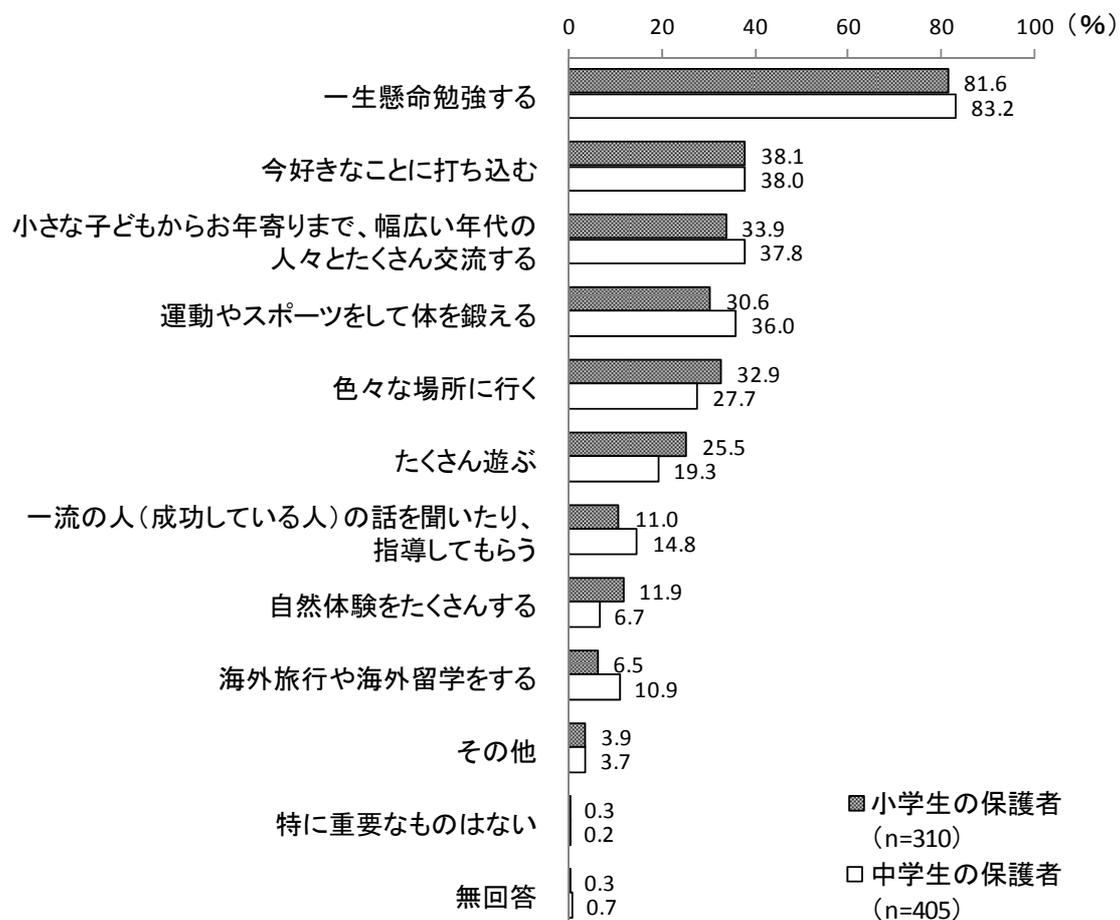
経年変化で見ると、「一生懸命勉強する」が8.1ポイント高くなっている。(図表3(10)1)

図表3(10)1



子の年代別で見ると、傾向に大きな違いは見られなかった。(図表3 (10) 2)

図表3 (10) 2 子どもが夢をかなえたり希望する仕事をするために必要なこと (子の年代別)

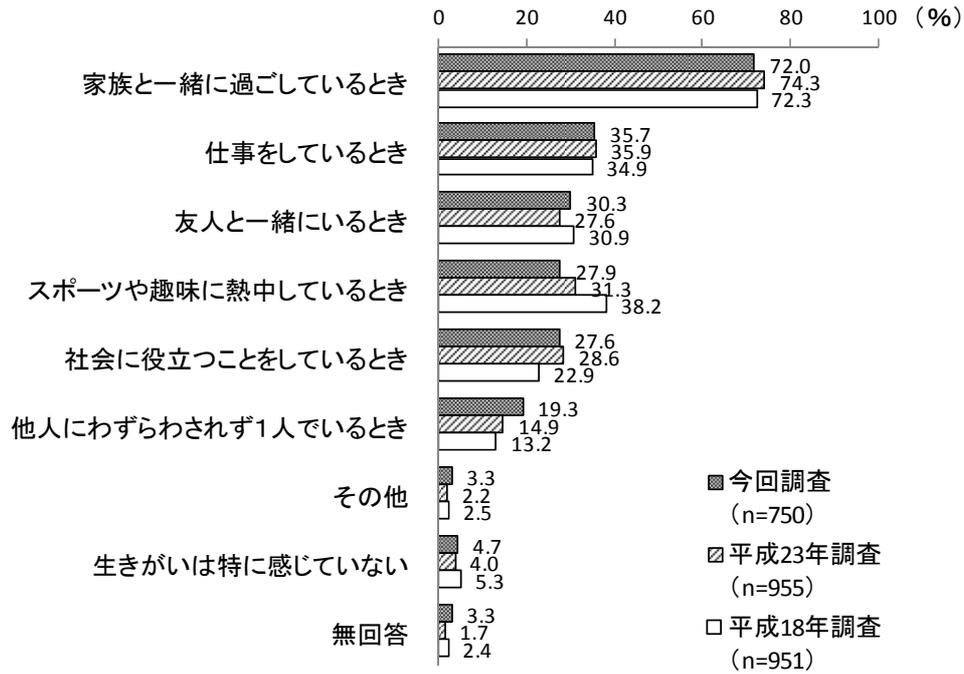


(11) 生きがいを感じること 問30

◎ あなたは、普段の生活の中で、どのようなときに生きがいを感じますか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

生きがいを感じることにについて聞いたところ、「家族と一緒に過ごしているとき」(72.0%)が最も多く、「仕事をしているとき」(35.7%)、「友人と一緒にいるとき」(30.3%)と続いている。経年変化で見ると、傾向に大きな違いは見られなかった。(図表3 (11) 1)

図表3 (11) 1



4 学校や教育について

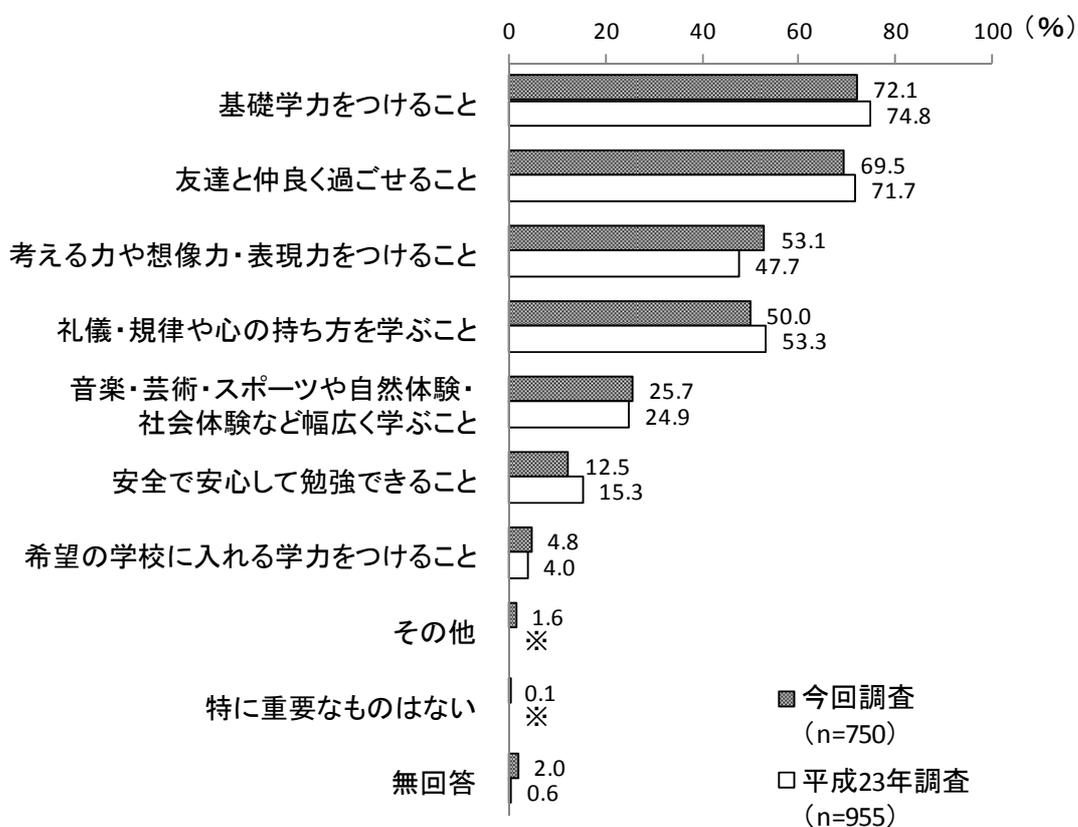
(1) 学校教育で重要なこと 問31

◎ あなたは、小・中学校の教育では何が重要だと思いますか。次の中から特に重要と思うものを3つまで選んで○をしてください。

学校教育で重要なことについて聞いたところ、「基礎学力をつけること」(72.1%)が最も多く、「友達と仲良く過ごせること」(69.5%)、「考える力や想像力・表現力をつけること」(53.1%)と続いている。

経年変化で見ると、「考える力や想像力・表現力をつけること」が平成23年調査より5.4ポイント高くなっている。(図表4(1)1)

図表4(1)1

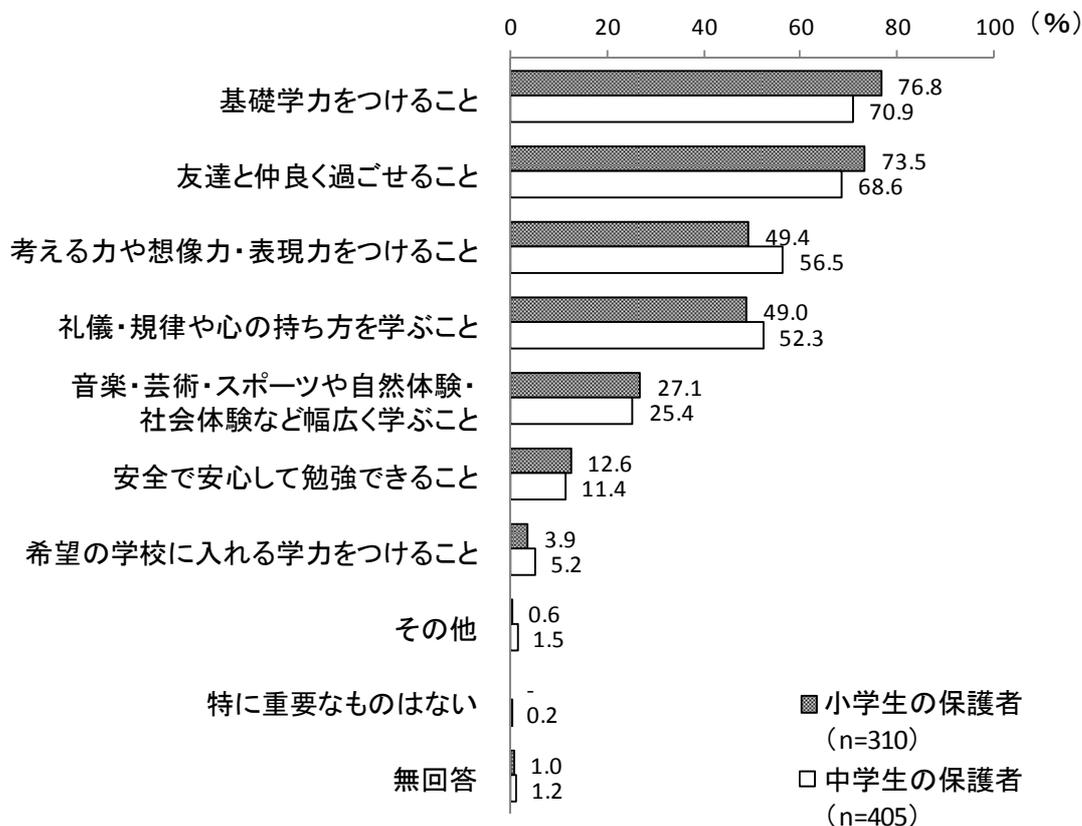


※調査をしていない項目

子の年代別で見ると、小学生の保護者が中学生の保護者より「基礎学力をつけること」が5.9ポイント、「友達と仲良く過ごせること」が4.9ポイント高くなっている。一方、中学生の保護者が小学生の保護者より「考える力や想像力・表現力をつけること」が7.1ポイント高くなっている。

(図表4 (1) 2)

図表4 (1) 2 学校教育で重要なこと (子の年代別)



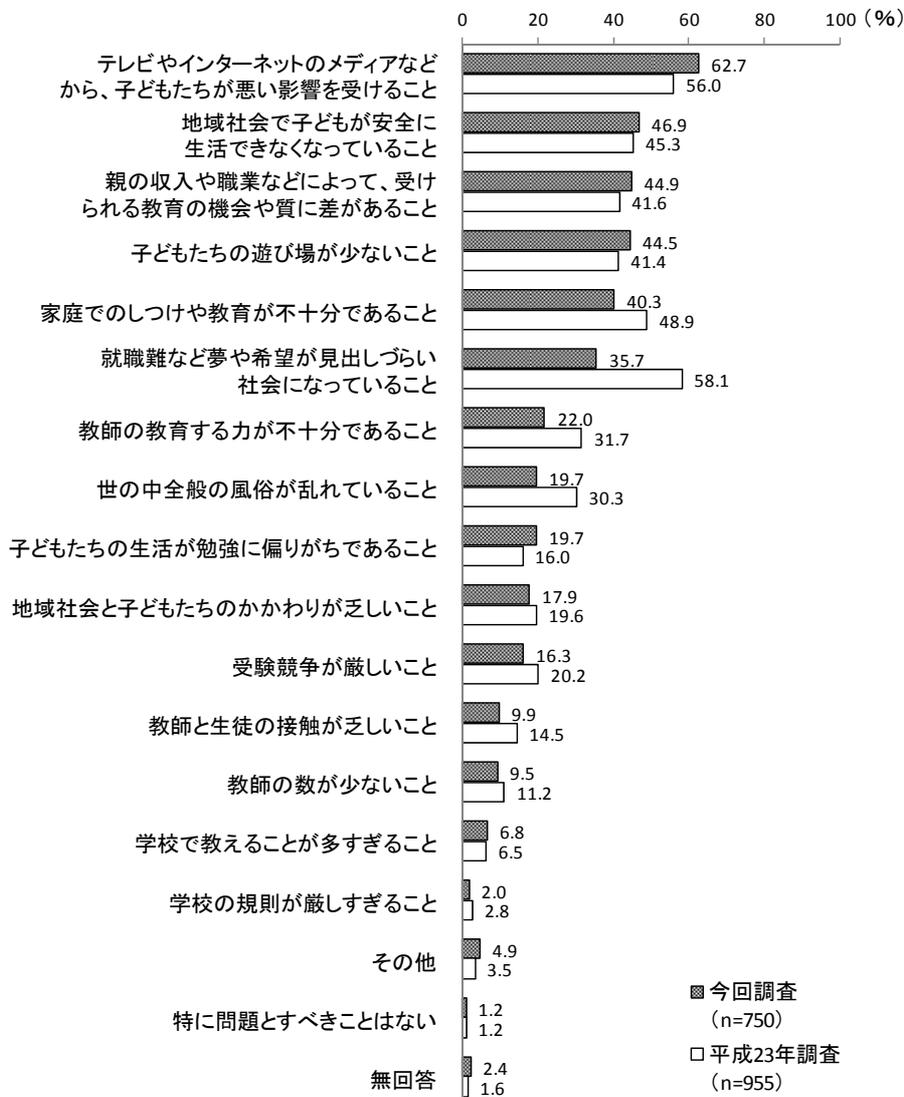
(2) 子育てや教育の現状における問題 問 3 2

◎ 子育てや教育の現状について考えたとき、あなたはどのようなことが問題だと思いますか。次の中から、問題だと思うものすべてに○をしてください。

子育てや教育の現状における問題について聞いたところ、「テレビやインターネットのメディアなどから、子どもたちが悪い影響を受けること」(62.7%)が最も多く、「地域社会で子どもが安全に生活できなくなっていること」(46.9%)、「親の収入や職業などによって、受けられる教育の機会や質に差があること」(44.9%)と続いている。

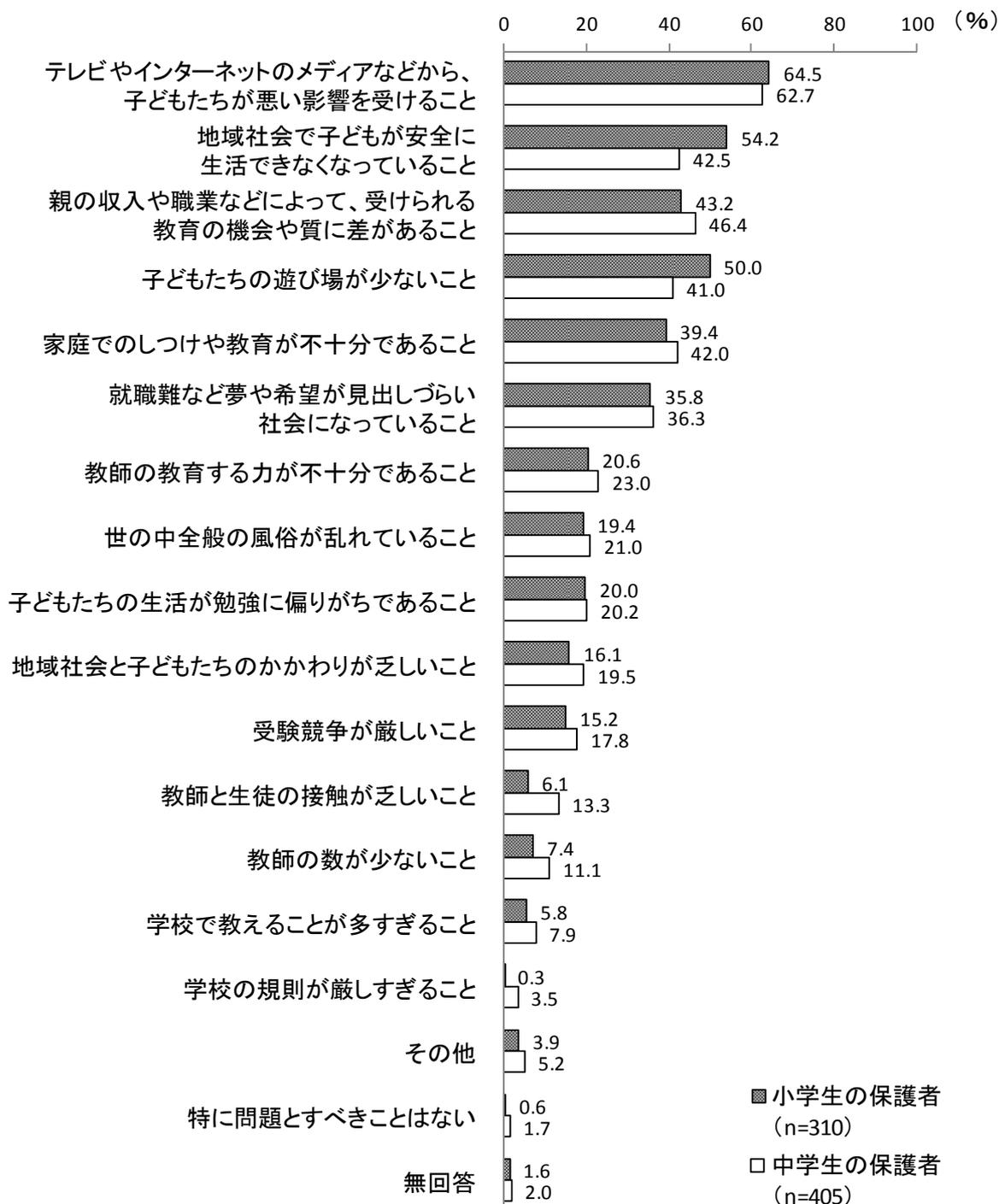
経年変化で見ると、平成23年調査より「テレビやインターネットのメディアなどから、子どもたちが悪い影響を受けること」が6.7ポイント高くなっている。一方、「就職難など夢や希望が見出しづらい社会になっていること」が22.4ポイント、「家庭でのしつけや教育が不十分であること」が8.6ポイント低くなっている。(図表4(2)1)

図表4(2)1



子の年代別で見ると、小学生の保護者が中学生の保護者より「地域社会で子どもが安全に生活できなくなっていること」が11.7ポイント、「子どもたちの遊び場が少ないこと」が9.0ポイント高くなっている。(図表4(2)2)

図表4(2)2 子育てや教育の現状における問題(年代別)



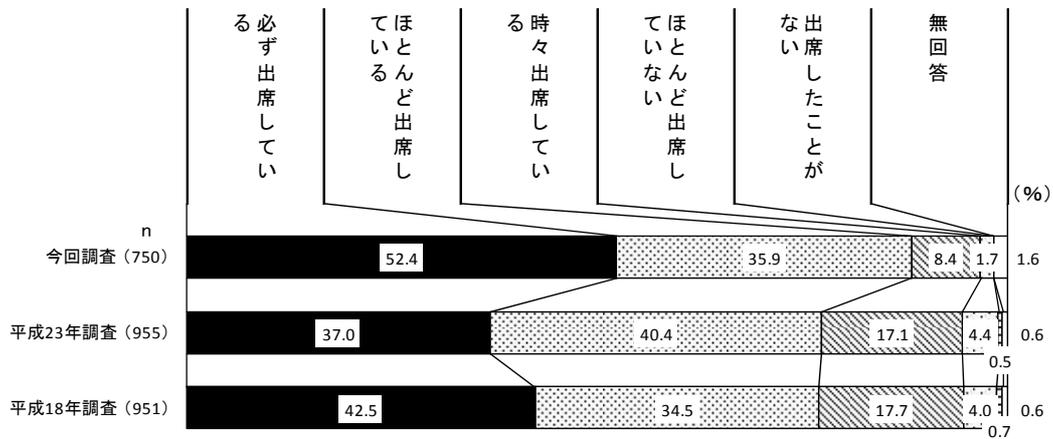
(3) 学校行事への出席状況 問33

◎ あなたは、お子さんが通っている学校の授業参観、運動会などの行事に、どのくらい出席していますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

学校行事への出席状況について聞いたところ、「必ず出席している」(52.4%)が最も多く、「ほとんど出席している」(35.9%)、「時々出席している」(8.4%)と続いている。

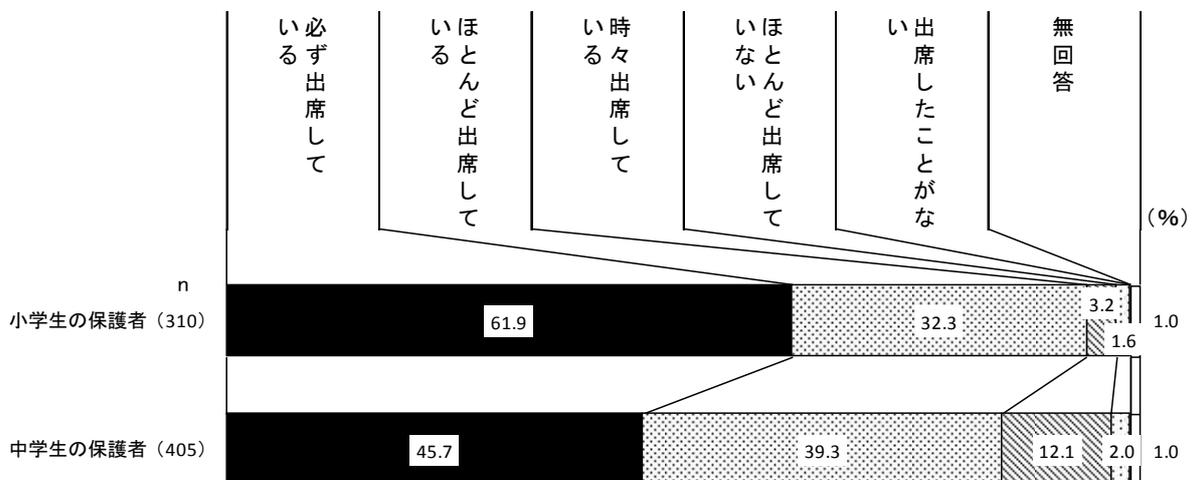
経年変化で見ると、「必ず出席している」と「ほとんど出席している」を合わせた割合は、増加傾向にある。(図表4(3)1)

図表4(3)1



子の年代別で見ると、「必ず出席している」と「ほとんど出席している」を合わせた割合は、小学生の保護者は94.2%、中学生の保護者は85.0%で、小学生の保護者が9.2ポイント高くなっている。(図表4(3)2)

図表4(3)2 学校行事への出席状況(子の年代別)



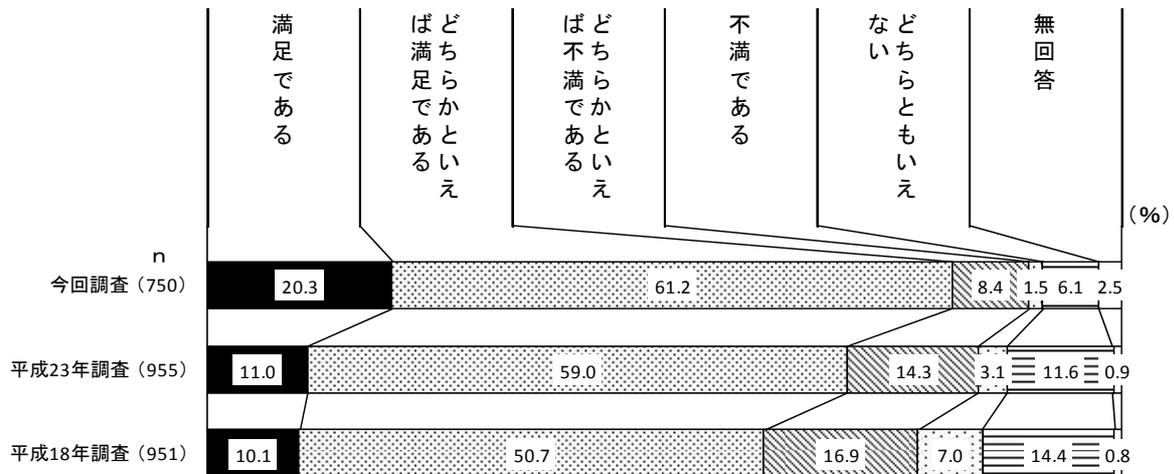
(4) 子どもが通っている学校の満足度 問34

◎ あなたは、現在お子さんが通っている学校での教育に、親としてどのくらい満足していますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

子どもが通っている学校の満足度について聞いたところ、「どちらかといえば満足である」が61.2%、「満足である」が20.3%となっている。

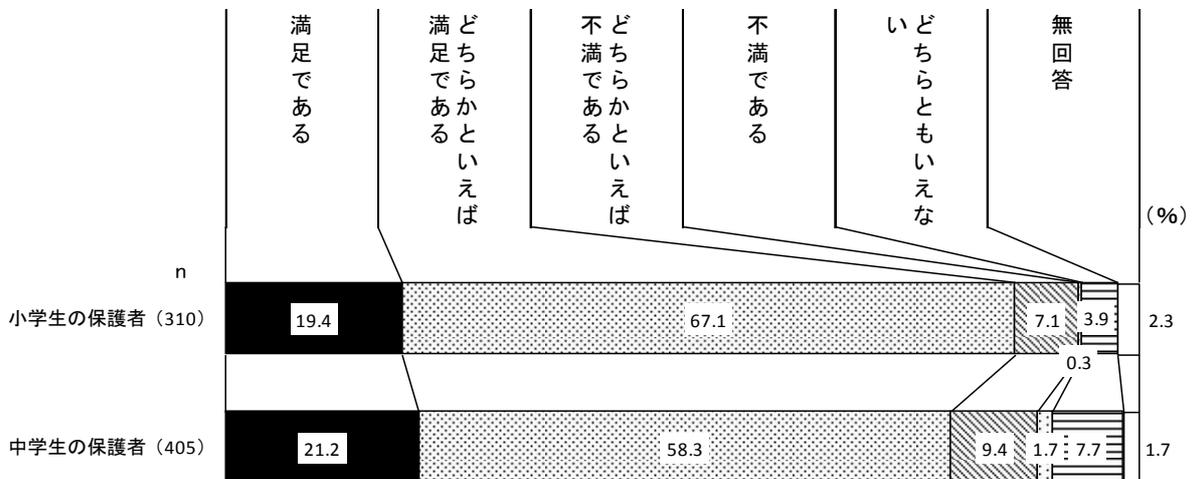
経年変化で見ると、「満足である」と「どちらかといえば満足である」を合わせた割合は増加傾向にある。(図表4(4)1)

図表4(4)1



子の年代別で見ると、「満足である」と「どちらかといえば満足である」を合わせた割合は、小学生の保護者は86.5%、中学生の保護者は79.5%で、小学生の保護者が7.0ポイント高くなっている。(図表4(4)2)

図表4(4)2 子どもが通っている学校の満足度(子の年代別)



5 地域・地域活動について

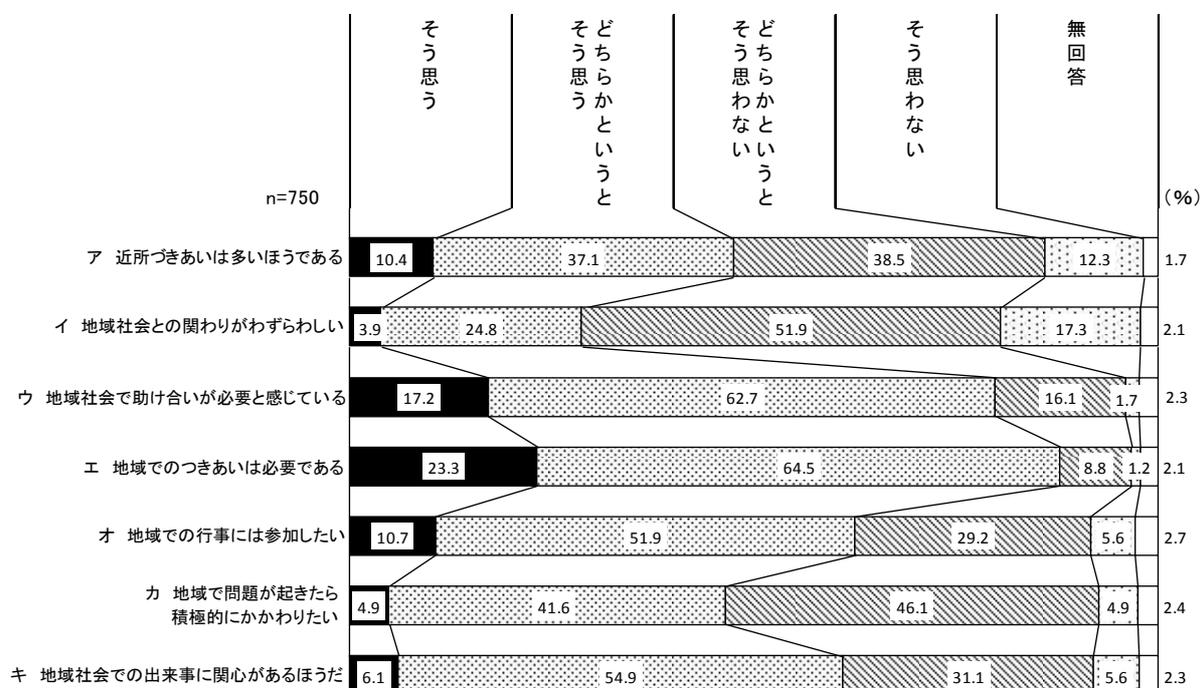
(1) 地域との関わり、関心 問35

◎ あなたは、現在住んでいる地域のことで、次のように感じる場合がありますか。ア～キのそれぞれについて、1つ選んで○をしてください。

地域との関わり、関心について聞いたところ、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた《思う》の割合は、「地域でのつきあいは必要である」(87.8%)が最も多く、「地域社会で助け合いが必要と感じている」(79.9%)、「地域での行事には参加したい」(62.6%)と続いている。

(図表5 (1) 1)

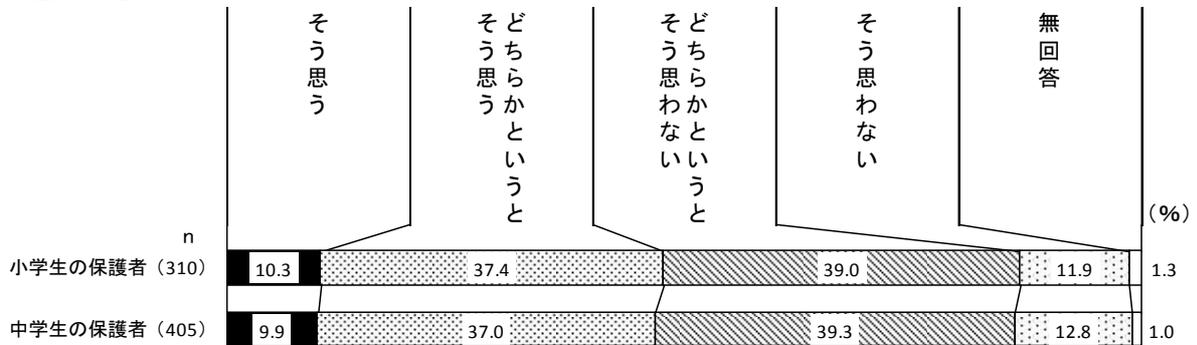
図表5 (1) 1



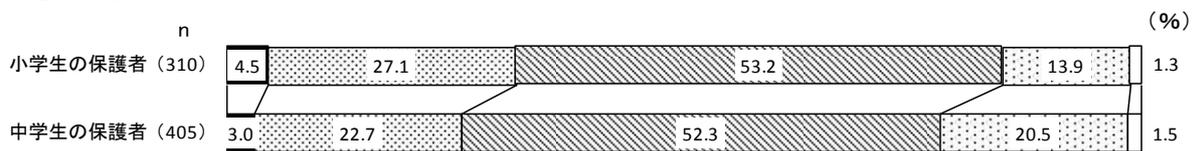
子の年代別で見ると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた《思う》の割合はほとんどの項目において、小学生の保護者が中学生の保護者より高くなっている。(図表5(1)2)

図表5(1)2 地域との関わり、関心(子の年代別)

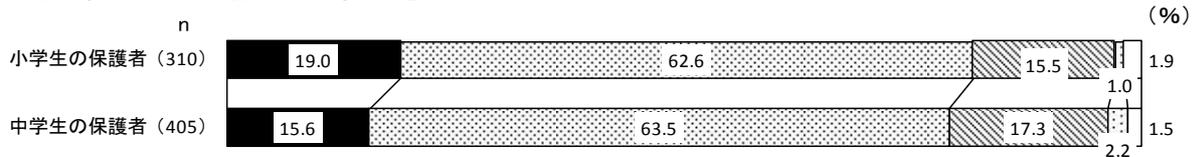
ア 近所づきあいは多いほうである



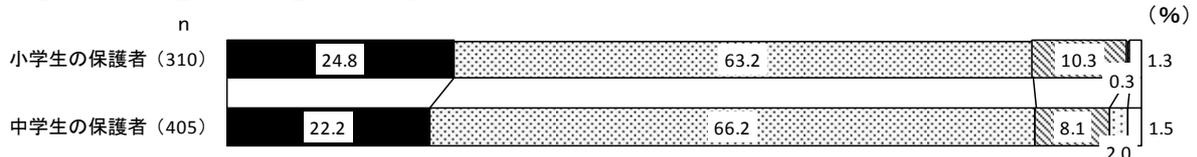
イ 地域社会との関わりがわずらわしい



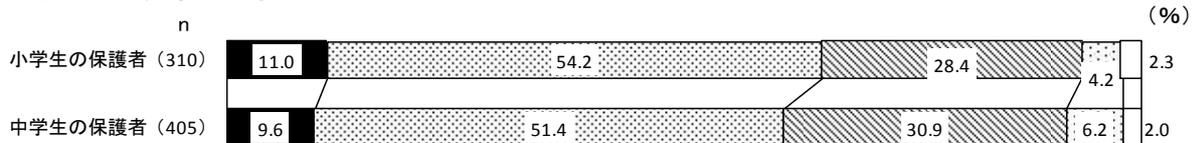
ウ 地域社会で助け合いが必要と感じている



エ 地域でのつきあいは必要である



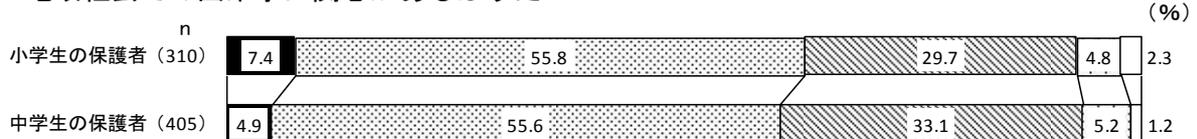
オ 地域での行事には参加したい



カ 地域で問題が起きたら積極的にかかわりたい



キ 地域社会での出来事に関心があるほうだ



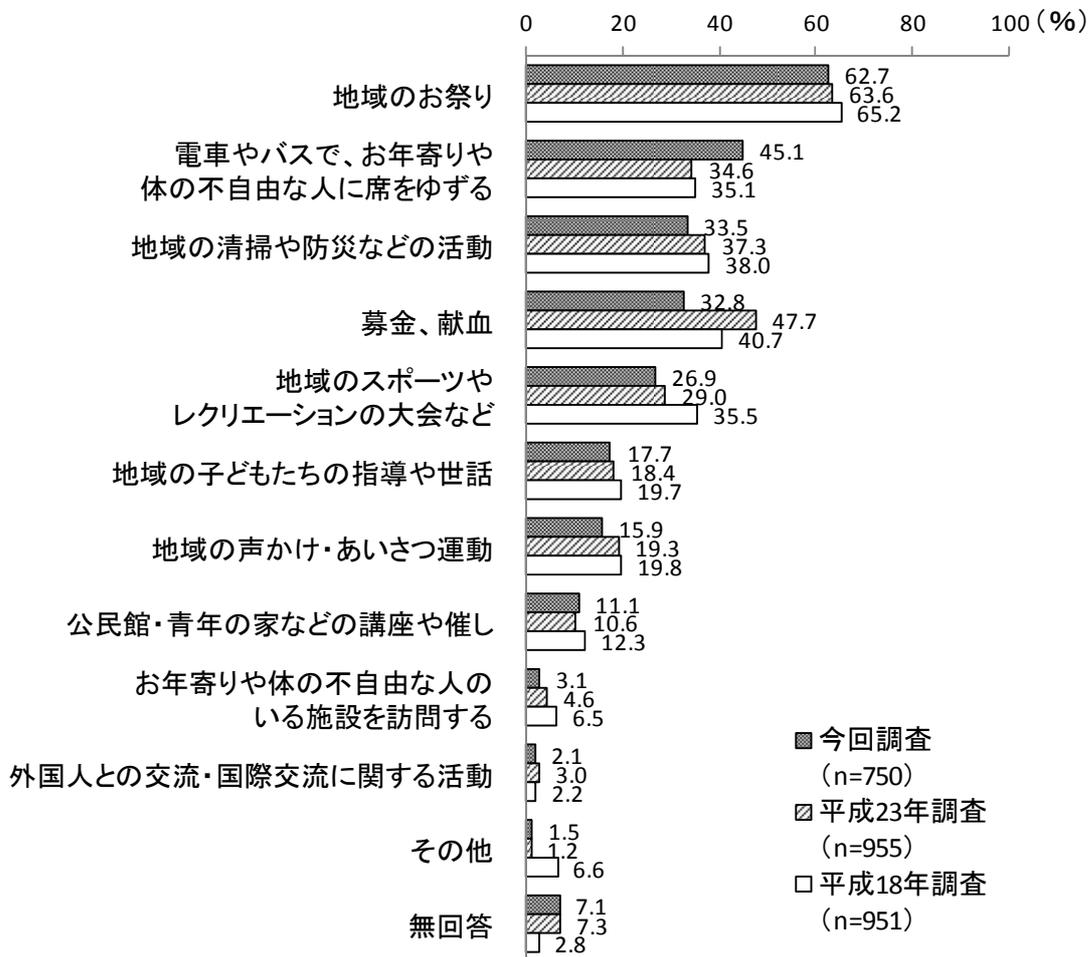
(2) 最近1年間で参加した地域活動など 問36

◎ あなたは、最近1年間で、次のような活動に参加したり、行動をしたりしたことがありますか。次の中で、参加したり、行動したりしたことについて、あてはまるものすべてに○をしてください。最近1年間で参加した地域活動や行動について聞いたところ、「地域のお祭り」(62.7%)が最も多く、「電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる」(45.1%)、「地域の清掃や防災などの活動」(33.5%)と続いている。

経年変化で見ると、平成23年調査より「電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる」が10.5ポイント高くなっている。一方、「募金、献血」が14.9ポイント低くなっている。

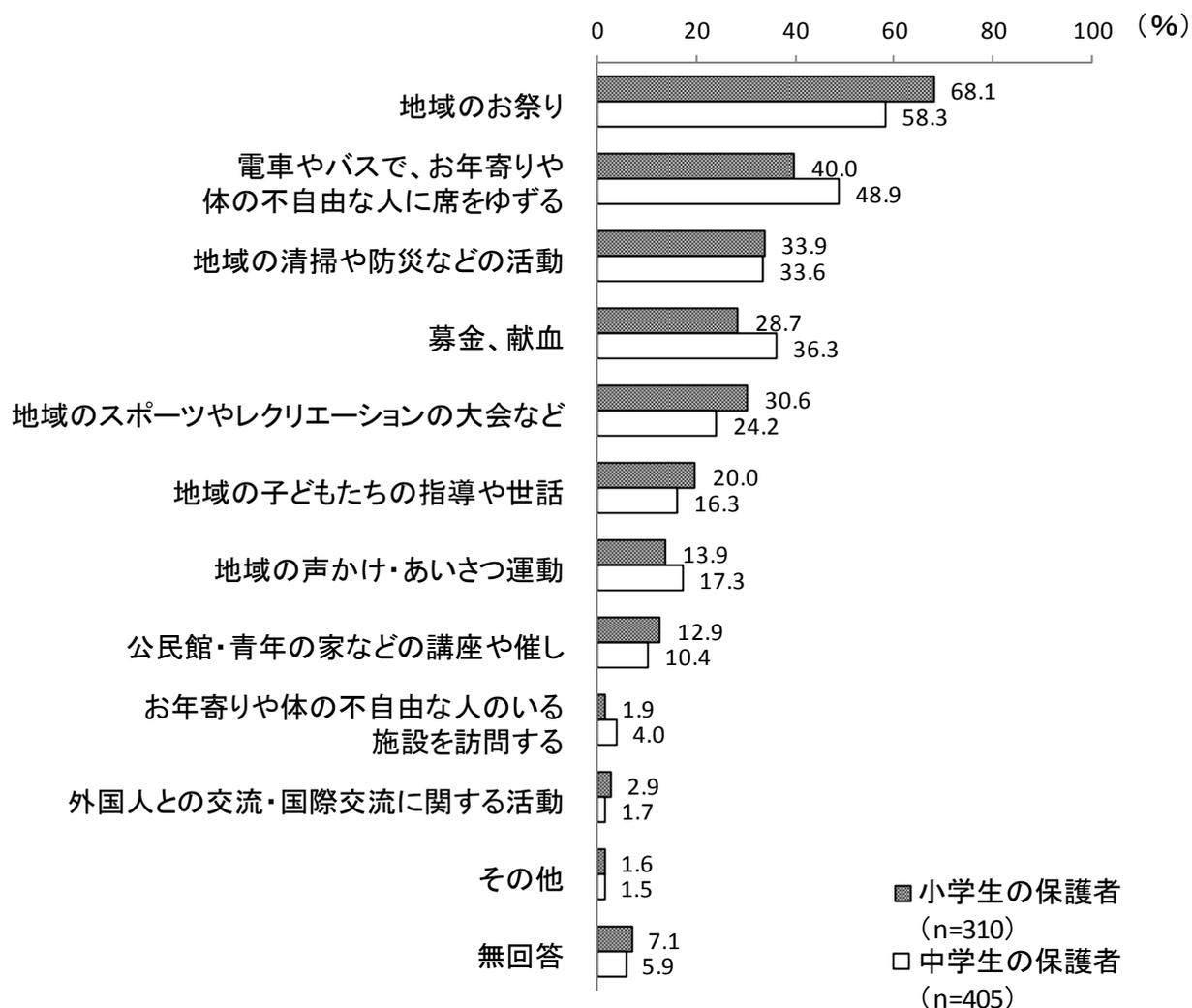
(図表5 (2) 1)

図表5 (2) 1



子の年代別で見ると、小学生の保護者が中学生の保護者より「地域のお祭り」が 9.8 ポイント、「地域のスポーツやレクリエーションの大会など」が 6.4 ポイント高くなっている。一方、中学生の保護者が小学生の保護者より「電車やバスで、お年寄りや体の不自由な人に席をゆずる」が 8.9 ポイント、「募金、献血」が 7.6 ポイント高くなっている。(図表 5 (2) 2)

図表 5 (2) 2 最近 1 年間で参加した地域活動など (子の年代別)



6 青少年の非行・健全育成について

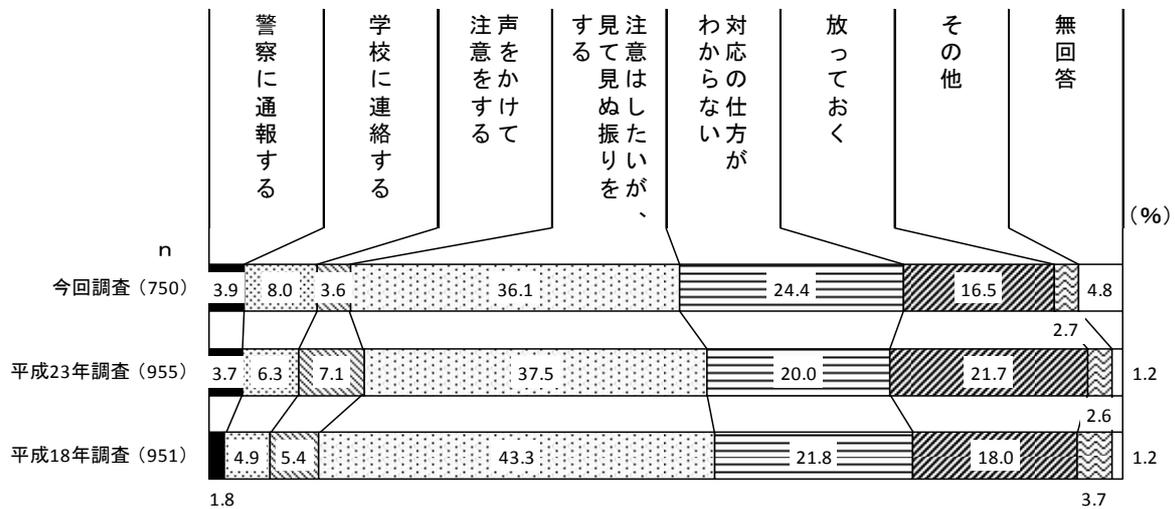
(1) 素行の悪い未成年を見かけたときの対応 問 3 7

◎ あなたは、例えば「タバコを吸う」など素行の悪い未成年を見かけたとき、どのように対応しますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

素行の悪い未成年を見かけたときの対応について聞いたところ、「注意はしたいが、見て見ぬ振りをする」(36.1%)が最も多く、「対応の仕方がわからない」(24.4%)、「放っておく」(16.5%)と続いている。

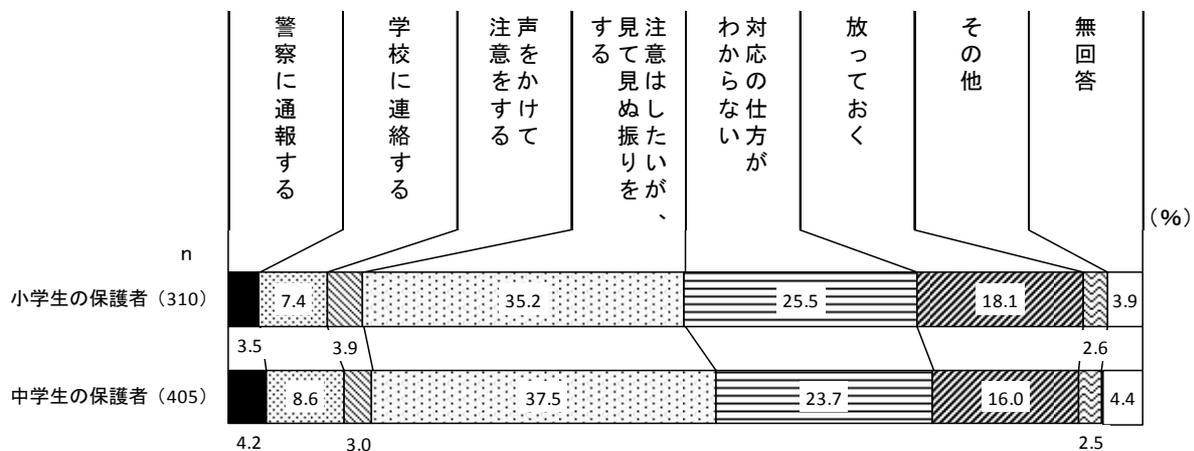
経年変化で見ると、平成23年調査より「対応の仕方がわからない」が4.4ポイント高くなっている。一方、「注意はしたいが、見て見ぬ振りをする」は減少傾向が見られた。(図表6(1)1)

図表6(1)1



子の年代別で見ると、傾向に大きな違いはなかった。(図表6(1)2)

図表6(1)2 素行の悪い未成年を見かけたときの対応(子の年代別)



(2) 人の命を奪いたくなる・自分の命を絶つという気持ちに対する共感 問38

◎ 最近、青少年が他人の命を奪ったり、自分の命を絶ったりする事件が目立ちます。あなたは、こうした事件についてどう思いますか。それぞれについて、1つ選んで○をしてください。

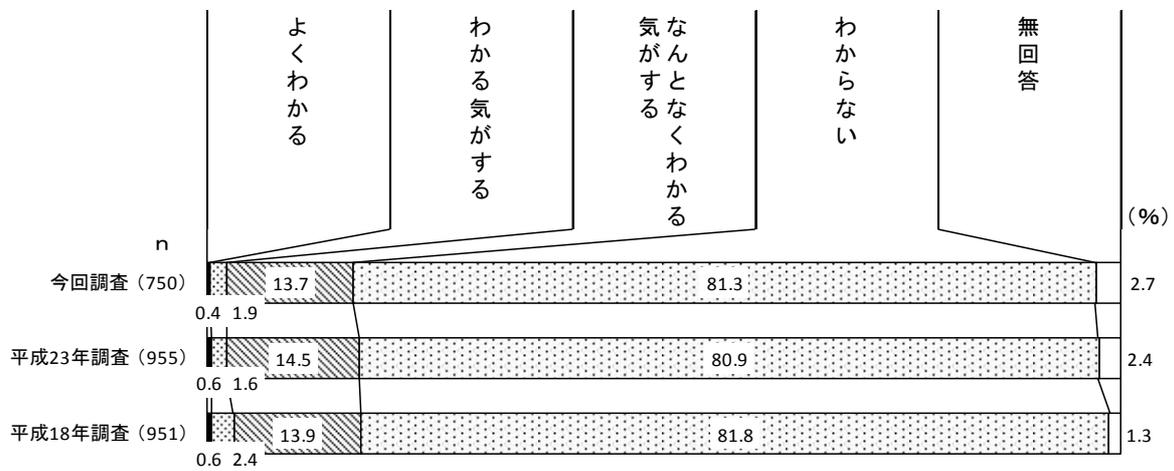
人の命を奪いたくなる・自分の命を絶つという気持ちに対する共感について聞いたところ、『人の命を奪いたくなるような気持ち』については、「わからない」が81.3%、「なんとなくわかる気がする」が13.7%となっている。

一方、『自分の命を絶つという気持ち』については、「わからない」が48.1%、「なんとなくわかる気がする」が38.7%となっている。

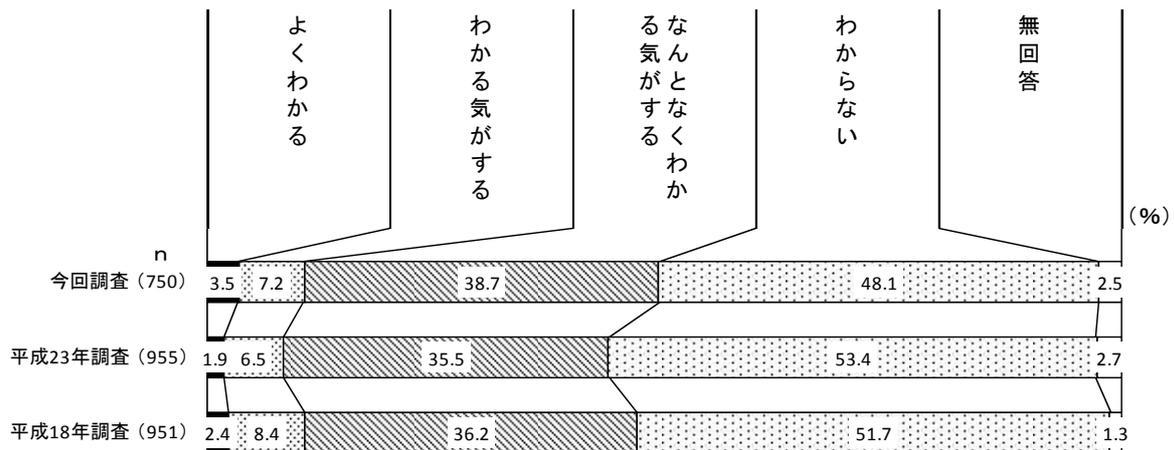
経年変化で見ると、傾向に大きな違いはなかった。(図表6(2)1)

図表6(2)1

a) 人の命を奪いたくなるような気持ち



b) 自分の命を絶つというような気持ち

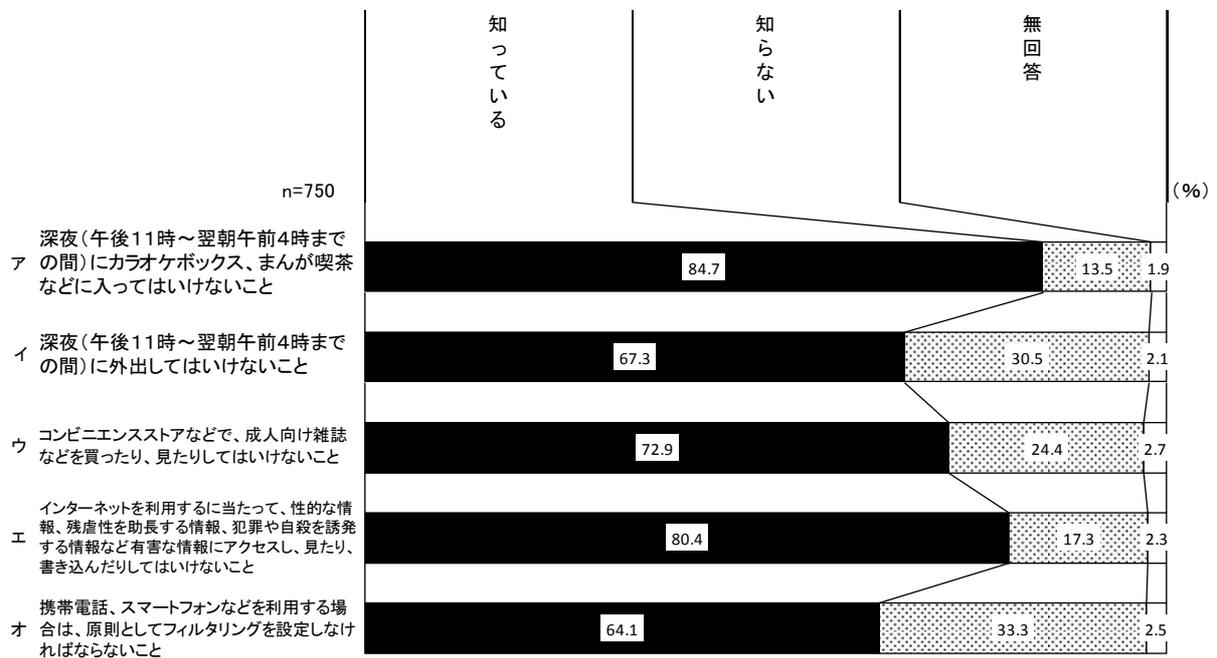


(3) 埼玉県青少年健全育成条例で制限・禁止されている事項の認知度 問 3 9

◎ あなたは、18歳未満の青少年の深夜外出などに関して、次のようなことを知っていますか。ア～オのそれぞれについて、1つ選んで○をしてください。

埼玉県青少年健全育成条例で制限・禁止されている事項の認知度について聞いたところ、『深夜（午後11時～翌朝午前4時までの間）にカラオケボックス、まんが喫茶などに入ってはいけない』（84.7%）が最も多く、『インターネットを利用するに当たって、性的な情報、残虐性を助長する情報、犯罪や自殺を誘発する情報など有害な情報にアクセスし、見たり、書き込んだりしてはいけない』（80.4%）、『コンビニエンスストアなどで、成人向け雑誌などを買ったり、見たりしてはいけないこと』（72.9%）となっている。（図表6（3）1）

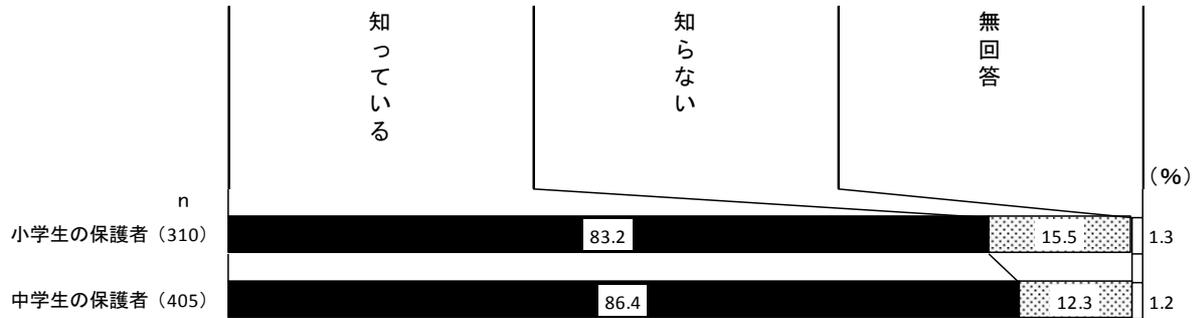
図表6（3）1



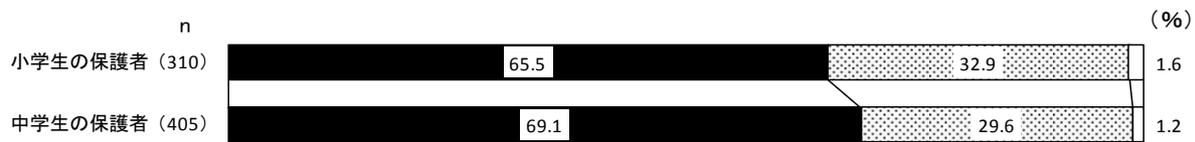
子の年代別で見ると、ほとんどの項目において「知っている」と答えた割合は、中学生の保護者が小学生の保護者より高くなっている。(図表6(3)2)

図表6(3)2 埼玉県青少年健全育成条例で制限・禁止されている事項(子の年代別)

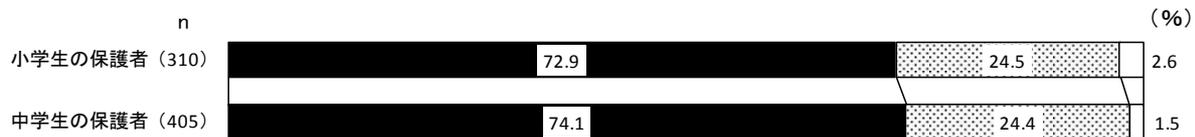
ア 深夜(午後11時～翌朝午前4時までの間)にカラオケボックス、まんが喫茶などに入ってはいけないこと



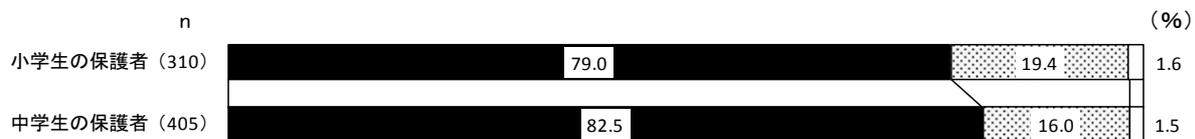
イ 深夜(午後11時～翌朝午前4時までの間)に外出してはいけないこと



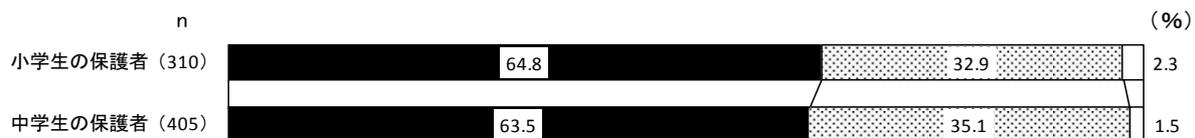
ウ コンビニエンスストアなどで、成人向け雑誌などを買ったり、見たりしてはいけないこと



エ インターネットを利用するに当たって、性的な情報、残虐性を助長する情報、犯罪や自殺を誘発する情報など有害な情報にアクセスし、見たり、書き込んだりしてはいけないこと



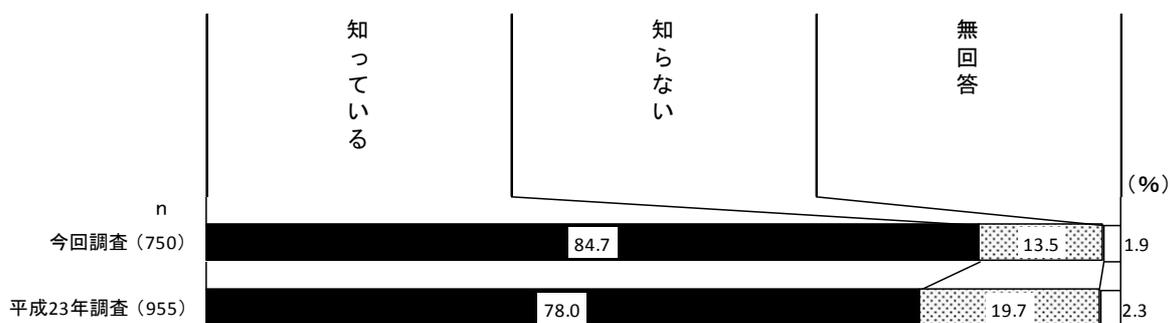
オ 携帯電話、スマートフォンなどを利用する場合は、原則としてフィルタリングを設定しなければならないこと



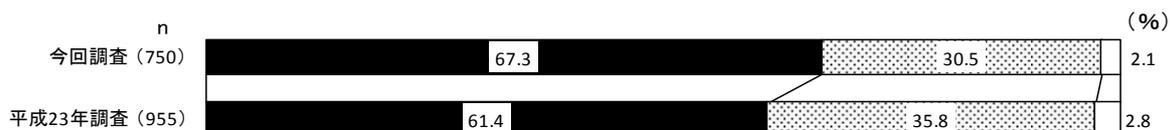
経年変化で見ると、「知っている」は、「インターネットを利用するに当たって、性的な情報、残虐性を助長する情報、犯罪や自殺を誘発する情報など有害な情報にアクセスし、見たり、書き込んだりしてはいけないこと」を除いてすべての項目で増加傾向が見られた。(図表6(3)3)

図表6(3)3 埼玉県青少年健全育成条例で制限・禁止されている事項(経年変化)

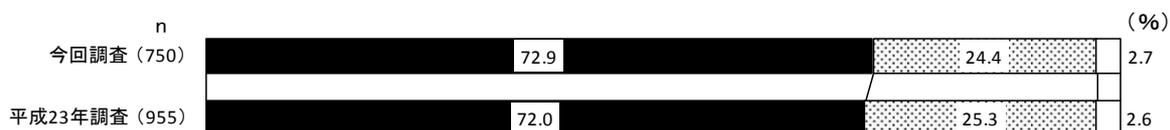
ア 深夜(午後11時~翌朝午前4時までの間)にカラオケボックス、まんが喫茶などに入っはいけないこと



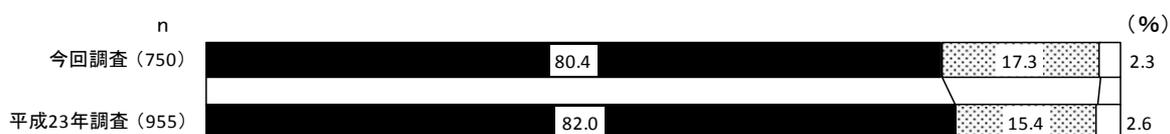
イ 深夜(午後11時~翌朝午前4時までの間)に外出してはいけないこと



ウ コンビニエンスストアなどで、成人向け雑誌などを買ったり、見たりしてはいけないこと



エ インターネットを利用するに当たって、性的な情報、残虐性を助長する情報、犯罪や自殺を誘発する情報など有害な情報にアクセスし、見たり、書き込んだりしてはいけないこと



オ 携帯電話、スマートフォンなどを利用する場合は、原則としてフィルタリングを設定しなければならないこと

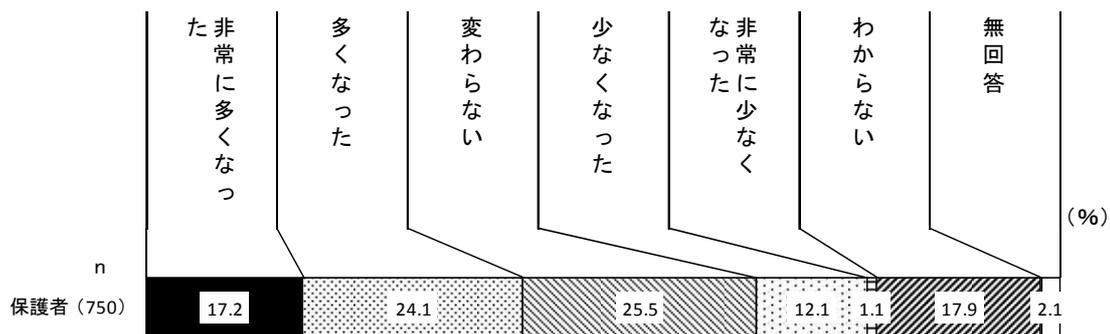


(4) 最近の青少年の非行に対する意識 問40

◎ あなたは最近の青少年の非行の状況について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んで○をしてください。

最近の青少年の非行に対する意識について聞いたところ、「非常に多くなった」と「多くなった」を合わせた《多くなった》の割合が41.3%で、「変わらない」は25.5%となっている。(図表6(4)1)

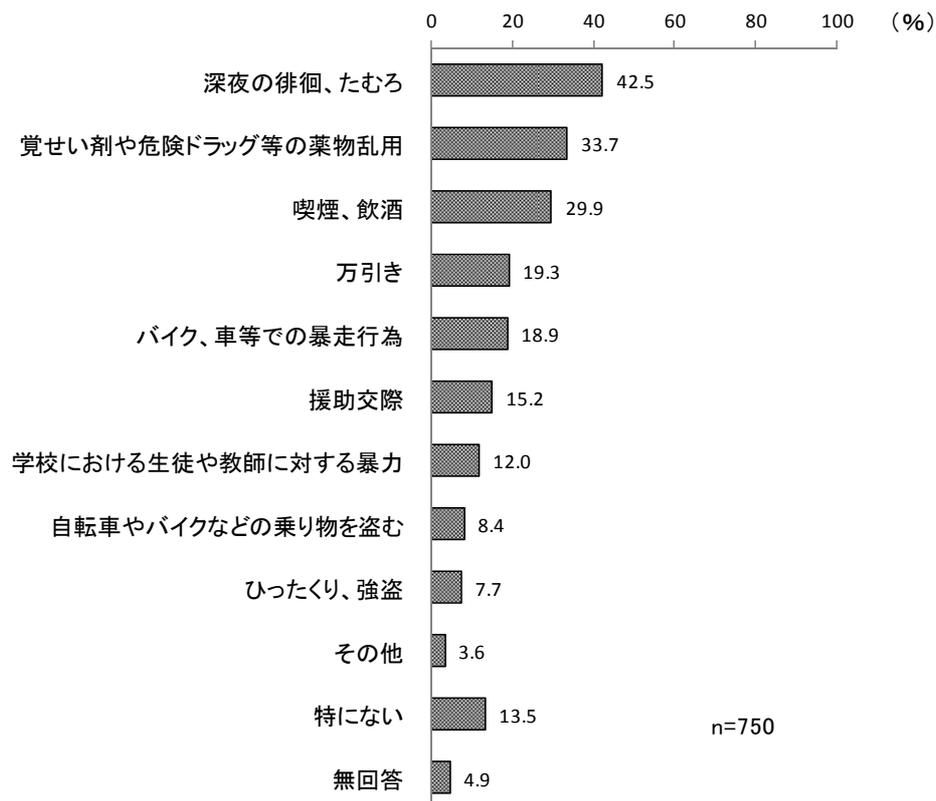
図表6(4)1



(5) 青少年の非行で気になるもの 問41

◎ 身近で気になる青少年の非行は何ですか。次の中から3つまで選んで○をしてください。
青少年の非行で気になるものについて聞いたところ、「深夜の徘徊、たむろ」(42.5%)が最も多く、「覚せい剤や危険ドラッグ等の薬物乱用」(33.7%)、「喫煙、飲酒」(29.9%)と続いている。
(図表6(5)1)

図表6(5)1



(6) 青少年の非行・問題行動についての考え

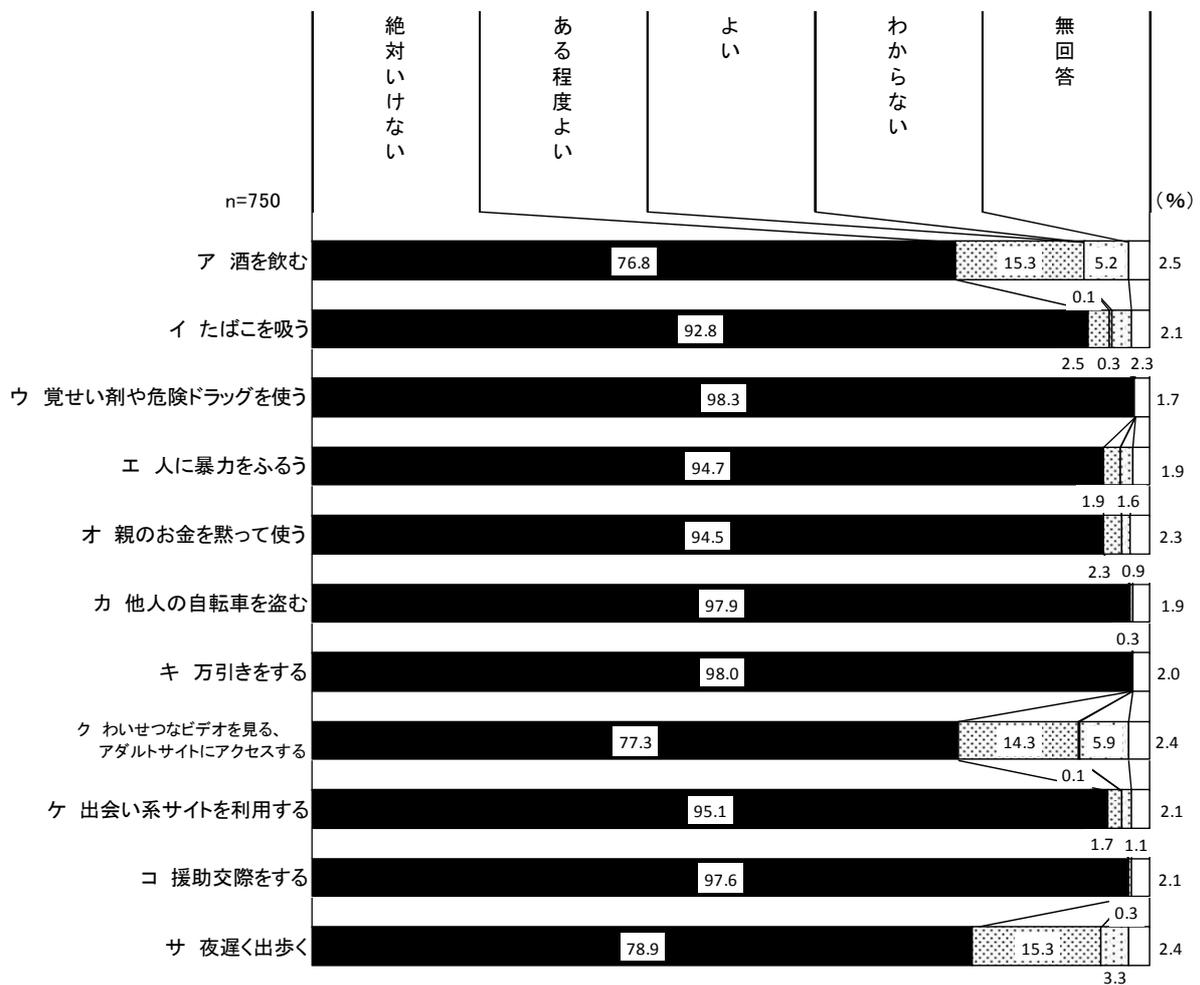
問42

◎ あなたは、未成年者が次のようなことを行うことについてどう思いますか。ア～サのそれぞれについて、1つ選んで○をしてください。

青少年の非行・問題行動についての考えについて聞いたところ、ほとんどの項目で「絶対いけない」が9割以上となっている。

一方、『酒を飲む』、『わいせつなビデオを見る、アダルトサイトにアクセスする』や『夜遅く出歩く』では「ある程度良い」が15%前後見受けられる。(図表6(6)1)

図表6(6)1



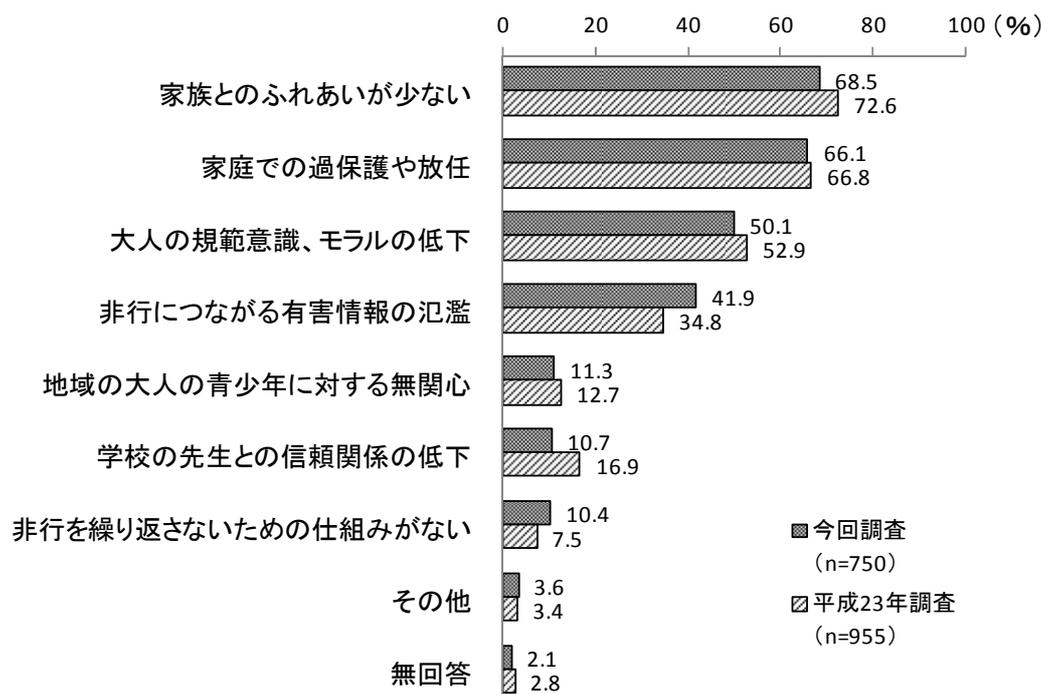
(7) 青少年の非行の原因 問43

◎ あなたは青少年の非行の原因は何だと思えますか。次の中から3つまで選んで○をしてください。

青少年の非行の原因について聞いたところ、「家族とのふれあいが少ない」(68.5%)が最も多く、「家庭での過保護や放任」(66.1%)、「大人の規範意識、モラルの低下」(50.1%)と続いている。

経年変化で見ると、「非行につながる有害情報の氾濫」が平成23年調査より7.1ポイント高くなっている。(図表6(7)1)

図表6(7)1



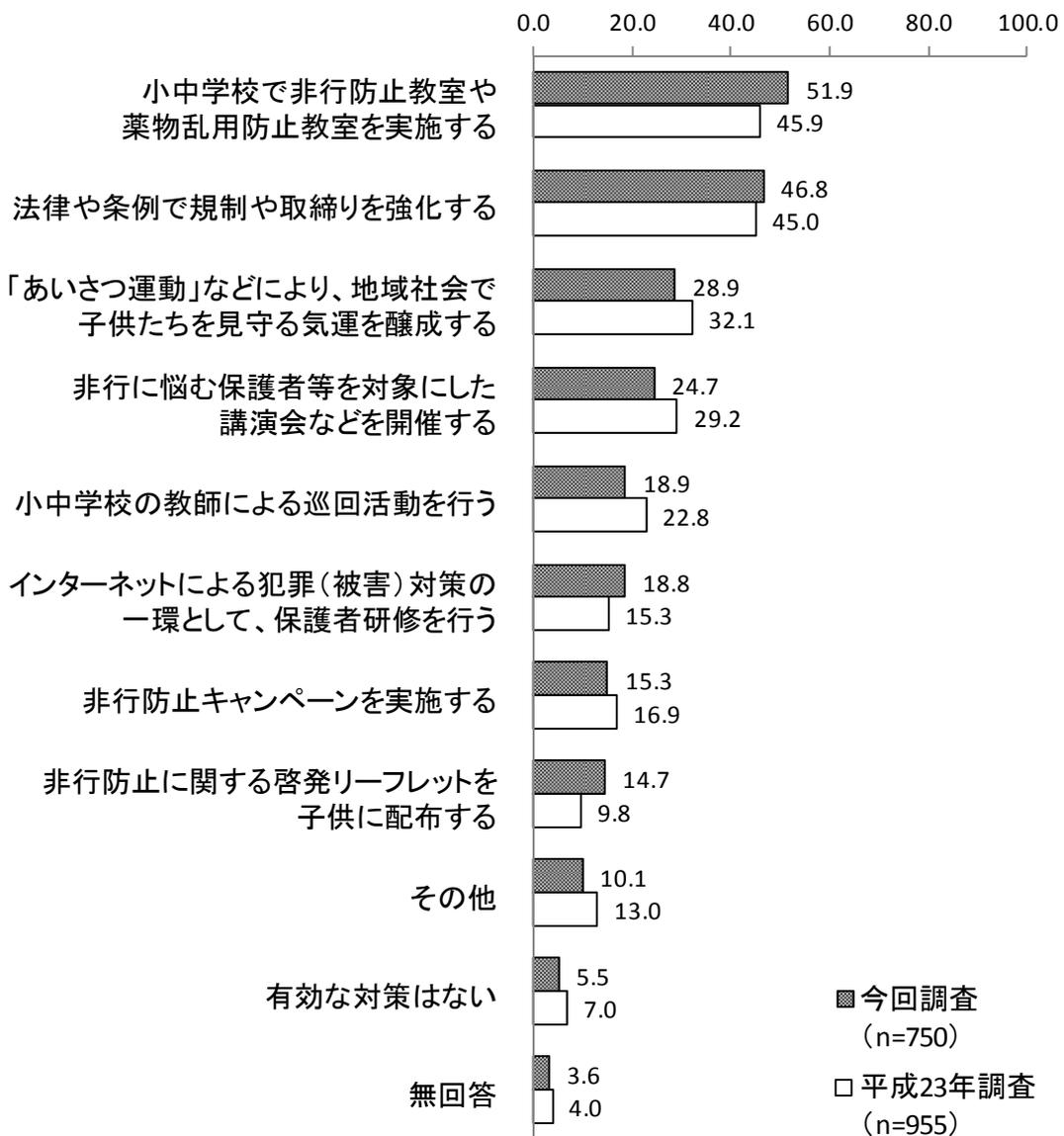
(8) 青少年非行の減少・抑止に有効な対策 問 4 4

◎ あなたは青少年の非行を減少・抑制する手段として、どのような対策が有効だと思いますか。次の中で、あてはまるものすべてに○をしてください。

青少年非行の減少・抑止に有効な対策について聞いたところ、「小中学校で非行防止教室や薬物乱用防止教室を実施する」(51.9%)が最も多く、「法律や条例で規制や取締りを強化する」(46.8%)、「『あいさつ運動』などにより、地域社会で子どもたちを見守る気運を醸成する」(28.9%)と続いている。

経年変化で見ると「小中学校で非行防止教室や薬物乱用防止教室を実施する」は平成23年調査より6.0ポイント高くなっている。(図表6(8)1)

図表6(8)1

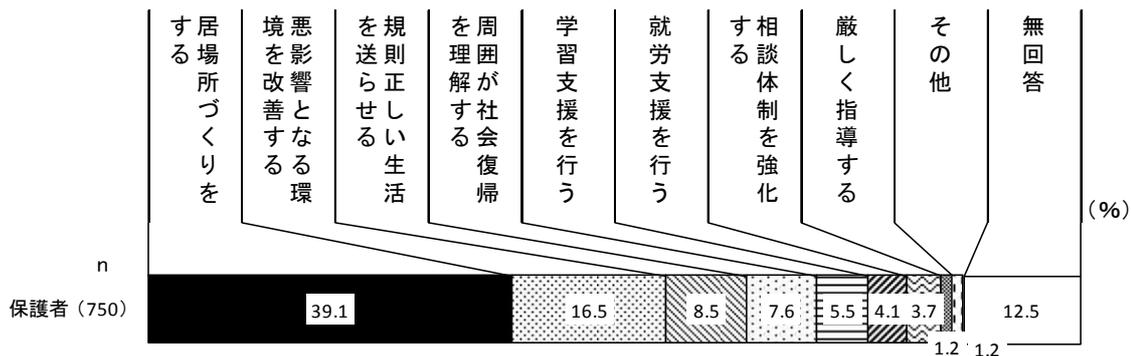


(9) 非行からの立ち直りに最も必要なこと 問45

◎ 青少年を非行から立ち直らせるため、最も必要だと思うことは何ですか。次の中から1つ選んで○をしてください。

非行からの立ち直りに最も必要なことについて聞いたところ、「居場所づくりをする」(39.1%)が最も多く、「悪影響となる環境を改善する」(16.5%)、「規則正しい生活を送らせる」(8.5%)と続いている。(図表6(9)1)

図表6(9)1

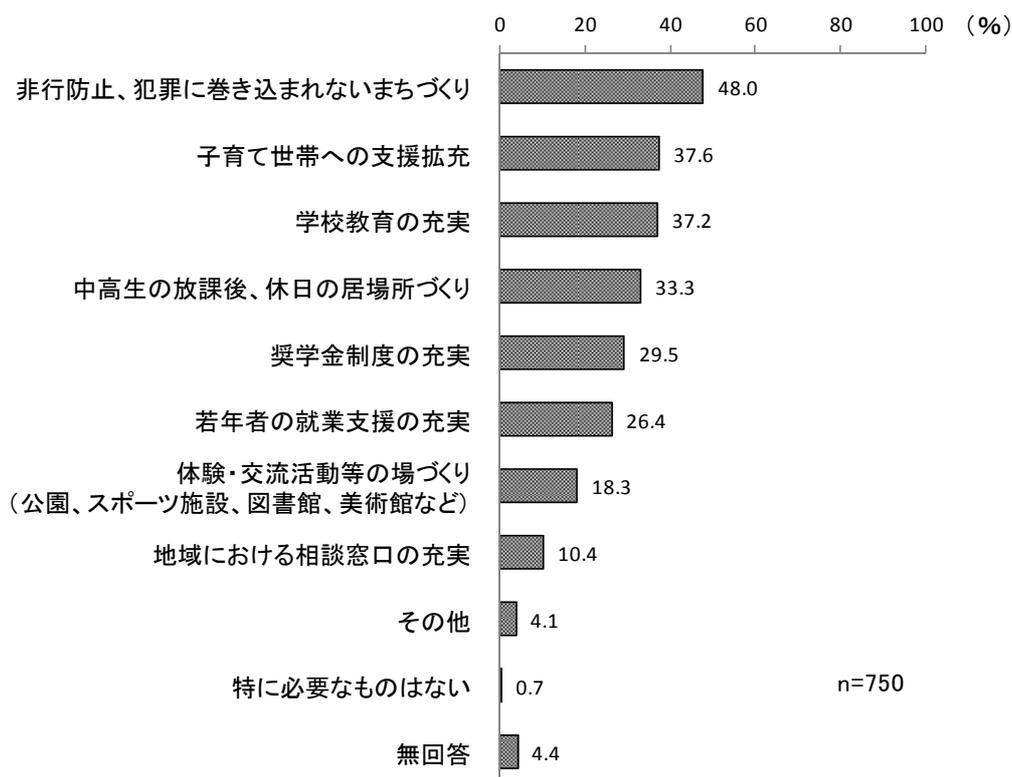


(10) 青少年の健全育成のために重点を置いてほしいもの 問 4 6

◎ 青少年が夢や希望を持ち、健やかに成長するために、最も重点を置いてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んで○をしてください。

青少年の健全育成のために重点を置いてほしいものを聞いたところ、「非行防止、犯罪に巻き込まれないまちづくり」(48.0%) が最も多く、「子育て世帯への支援拡充」(37.6%)、「学校教育の充実」(37.2%) と続いている。(図表6 (10) 1)

図表6 (10) 1



子の年代別で見ると、小学生の保護者が中学生の保護者より「地域における相談窓口の充実」が4.6ポイント、「非行防止、犯罪に巻き込まれないまちづくり」が4.4ポイント高くなっている。

(図表6 (10) 2)

図表6 (10) 2 青少年の健全育成のために重点を置いてほしいもの(子の年代別)

